

# 第1回 金沢市都市再生緊急整備地域準備協議会

## (仮称) 金沢駅東都心軸地域の 都市再生緊急整備地域指定に向けて

令和6(2024)年5月20日  
金沢市

1. 本協議会について
2. 金沢市の特長
3. 金沢市の現状
4. まちなかにおけるまちづくりの方向性
5. 金沢駅東都心軸の現状と課題
6. 指定を目指すエリア（素案）の検討について
7. 地域整備方針（素案）の検討について

1. 本協議会について
2. 金沢市の特長
3. 金沢市の現状
4. まちなかにおけるまちづくりの方向性
5. 金沢駅東都心軸の現状と課題
6. 指定を目指すエリア（素案）の検討について
7. 地域整備方針（素案）の検討について

# 1. 本協議会について

## (1) 都市再生緊急整備地域指定の必要性

令和5年度に策定した、概ね10年後を目標年次とする金沢市都市像「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢」及び「未来共創計画」において、「**骨格となる都心軸の再興**」を明記

### 未来を拓く世界の共創文化都市・金沢 未来共創計画

基本方針5 活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち ～都市づくり～

施策方針1 魅力あふれる中心市街地の活性化

#### 取組の方向性① 骨格となる都心軸の再興

都市再生特別措置法の活用や日本銀行金沢支店跡地の利活用などに取り組み、骨格となる都心軸の再興を目指します。

### ◎ K P I (重要業績評価指標)

指標内容	基準値	中間目標値(R10)	最終目標値(R15)
中心市街地に魅力を感じている市民の割合	60.7%(R5)	67%	73%
中心商店街エリアの来街者数	57,639人(R5)	上昇	上昇
老朽ビルの更新率 (片町エリア)	29%(R4)	32%	38%

K P I の達成には行政だけでなく、**民間の力が必要不可欠**であり、地域指定により**民間が再開発などを行う機運を醸成し、事業をしやすい環境の整備を目指す**

## (2) 目的とスケジュール

## 目 的

## 都心軸の現状と課題を踏まえ、エリアと地域整備方針の素案等についてとりまとめ

	内 容
本日 (5月20日)	第1回 準備協議会 <ul style="list-style-type: none"><li>都市再生緊急整備地域制度について（内閣府）</li><li>都心軸の現状と課題（事務局）</li></ul>
今後	第2回 準備協議会 <ul style="list-style-type: none"><li>エリア（素案）と地域整備方針（素案）について</li></ul>
	第3回 準備協議会 <ul style="list-style-type: none"><li>素案のとりまとめ</li></ul>
	準備協議会から素案を金沢市へ報告
	金沢市から素案を内閣府へ申請

1. 本協議会について
2. **金沢市の特長**
3. 金沢市の現状
4. まちなかにおけるまちづくりの方向性
5. 金沢駅東都心軸の現状と課題
6. 指定を目指すエリア（素案）の検討について
7. 地域整備方針（素案）の検討について

## (1) 金沢市の概要

- 本州のほぼ中心に位置し、歴史・文化の蓄積により形成された自然豊かな都市
- 石川県の県庁所在地として交通網や商工業も発達した北陸有数の都市

## ■面積・人口

面積	468.81 Km <sup>2</sup>
----	------------------------

人口 (2024.4.1現在推計)	455,179 人
-------------------	-----------

世帯数 ( // )	211,188世帯
------------	-----------

## ■産業構造 (就業者の構成)

第1次産業	1.3%
-------	------

第2次産業	21.1%
-------	-------

第3次産業	77.7%
-------	-------

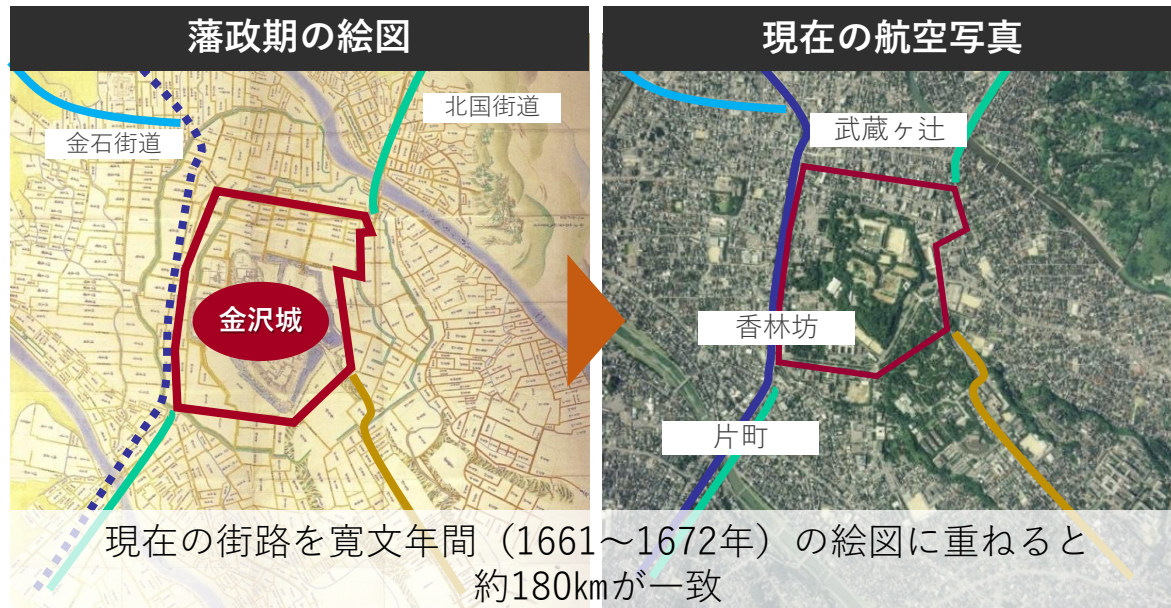
出所：2020年国勢調査



### (2) 地勢、歴史

- **2つの清流（犀川・浅野川）と3つの台地・丘陵（卯辰山・小立野台地・寺町台地）**により形成
- 両河川に挟まれた小立野台地の先端に築かれた**金沢城を中心に都市が構築**
- 藩政期以降、**400年以上にわたり戦禍に遭わずまちが継承**

#### ■地勢



#### ■歴史（城下町の形成）

- 1488年 加賀の一向一揆
- 1546年 金沢御堂（城郭寺院）の建設
- 1580年 佐久間盛政が金沢城建設開始
- 1583年 前田利家が金沢城入城

「百姓の持ちたる国」

1680年頃に近世城下町が構築



## 2. 金沢市の特長

### (3) 伝統と創造

- 歴史的な**建造物**や**まちなみ**だけでなく、そこに息づく**伝統文化**や**生業**を**継承**
- 独自の文化を産業と結びつけ、**新たな価値**を**創造**

#### ■歴史都市 金沢

- ・ 歴史まちづくり法による**歴史都市**に**第1号**で認定
- ・ 市内4地区が**重要伝統的建造物群保存地区**に選定  
(4地区は京都市、萩市と並んで最多)
- ・ 城下町として初めて**重要文化的景観**に選定

東山ひがし (重伝建地区)



長町武家屋敷跡 (景観地区)



- ・ 芸能、工芸、食など**伝統文化**の保存・継承・発展

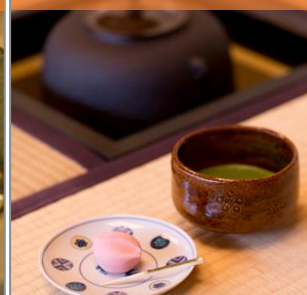
芸能



工芸



食



#### ■創造都市 金沢

- ・ 2009年に**ユネスコ創造都市**ネットワーク登録
- ・ 「クラフト&フォークアート」分野では世界で初めて金沢市が認定



City of Crafts and Folk Art  
**KANAZAWA**



**unesco**

Member of  
the Creative Cities Network

- ・ 常に新たな価値を創造するとともに、市民の文化的、創造的な活動を支援

金沢21世紀美術館



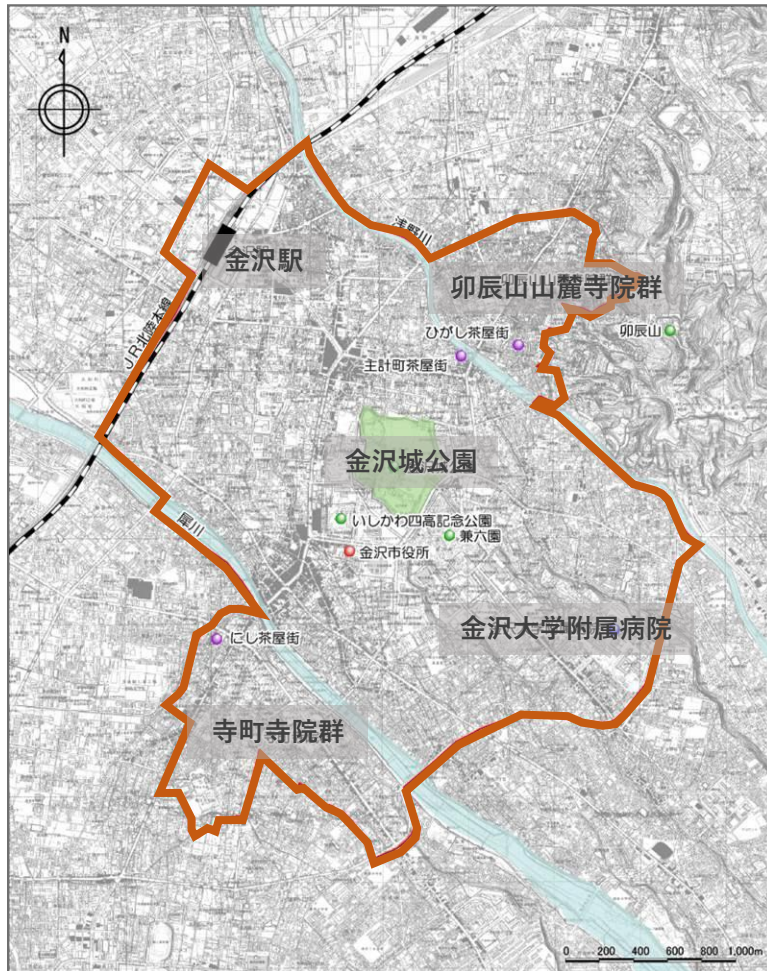
金沢市民芸術村





## (5) 中心市街地

- 金沢城公園を中心とした約860haの旧城下町区域
- 商業や業務施設、公共施設などの**主要な都市機能や、歴史・文化資源が集積**
- 平成10(1998)年以降「金沢市中心市街地活性化基本計画」に基づき、各種取組を推進



## ■ 中心市街地活性化のこれまでの取組（主なもの）

金沢駅東広場の整備



武蔵ヶ辻地区市街地再開発



金沢駅武蔵南地区市街地再開発



片町A地区市街地再開発

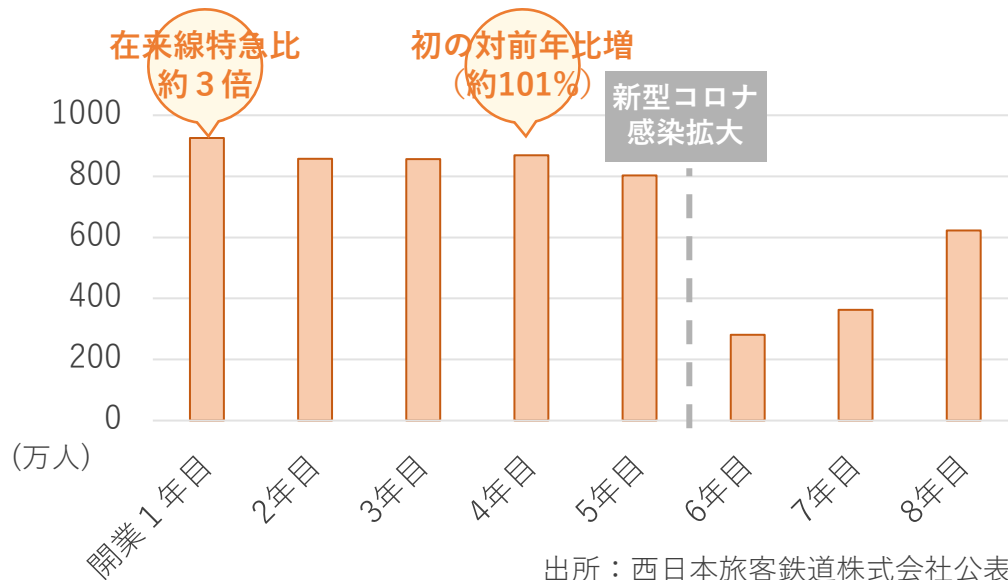




## (7) 北陸新幹線金沢開業～県内全線開業

- 2015年3月の北陸新幹線長野-金沢間開業により、東京へのアクセスが向上し、地域経済に大きな経済効果
- 2024年3月には金沢-敦賀間が開業

### ■北陸新幹線利用者数



### ■金沢開業による経済波及効果

- ・ 2016年の日本政策投資銀行のレポートによると、県内に及ぼす経済波及効果は **678**億円
- ・ 開業前の2013年試算値124億円の **5**倍超

参考：日本政策投資銀行北陸支店／地域企画部  
『北陸新幹線金沢開業による観光活性化が石川県に及ぼす経済波及効果』2016年12月

### ■北陸新幹線開業による時間短縮効果

※時間はそれぞれ最速の所要時間

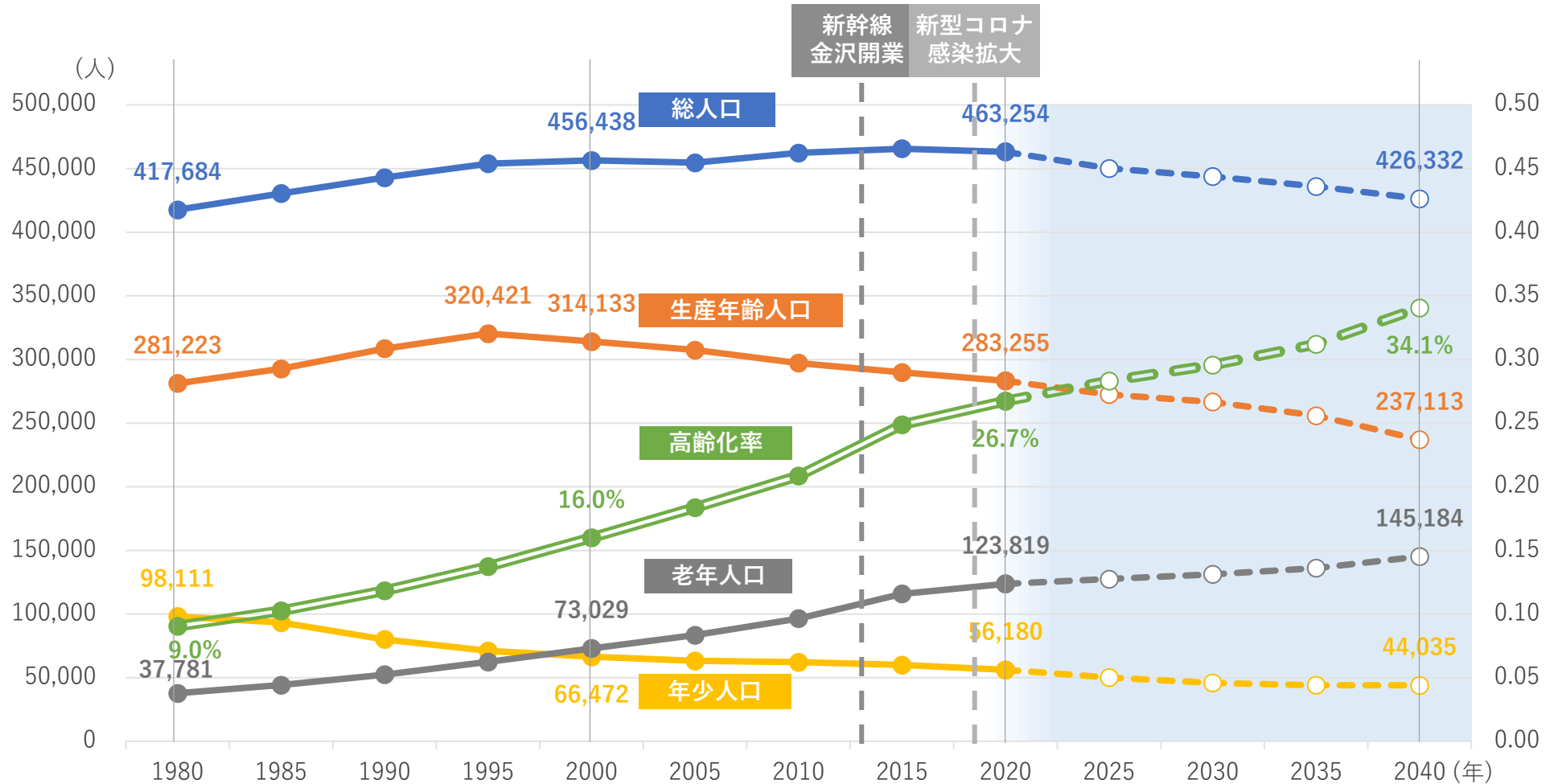
金沢開業	金沢－東京	約 3 時間50分	▶	2 時間25分 (85分短縮)
	金沢－名古屋	2 時間25分	▶	2 時間 9 分 (16分短縮)
敦賀開業	金沢－大阪	2 時間31分	▶	2 時間 9 分 (22分短縮)

1. 本協議会について
2. 金沢市の特長
- 3. 金沢市の現状**
4. まちなかにおけるまちづくりの方向性
5. 金沢駅東都心軸の現状と課題
6. 指定を目指すエリア（素案）の検討について
7. 地域整備方針（素案）の検討について

## (1) 人口 ①人口の推移と将来推計

- 国全体の動向に追随する形で**人口減少・少子高齢化が進行**
- 生産年齢人口（15～64歳）は2020年から20年間で約16%減少する見込み

### ■総人口・年齢3区分別人口・高齢化率の推移



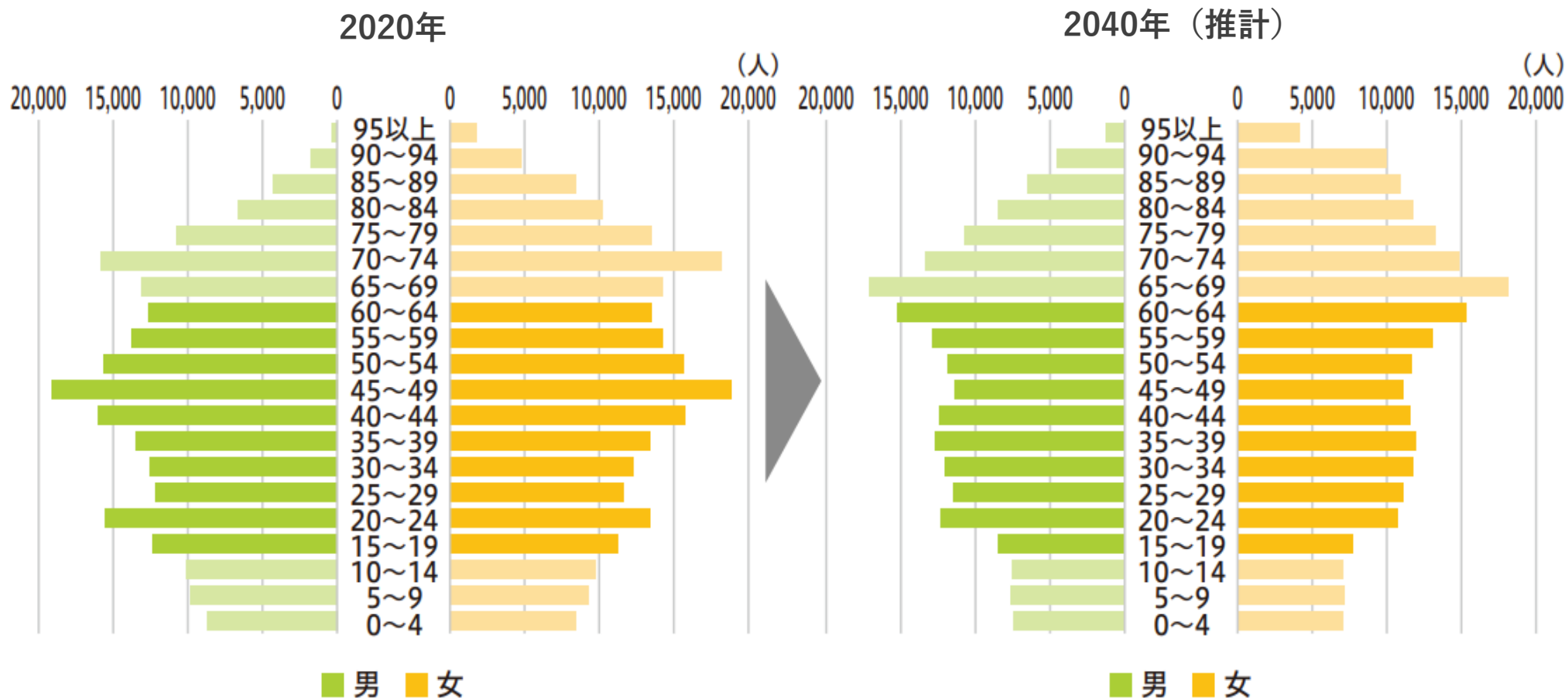
※2015年以前の総人口には年齢不詳分を含む。(2020年では不詳補完)

出所：2020年までは国勢調査、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

## (1) 人口 ②人口ピラミッド

- 少子高齢化、生産年齢人口の減少により、人口ピラミッドは「つぼ型」がさらに進行

## ■人口ピラミッド



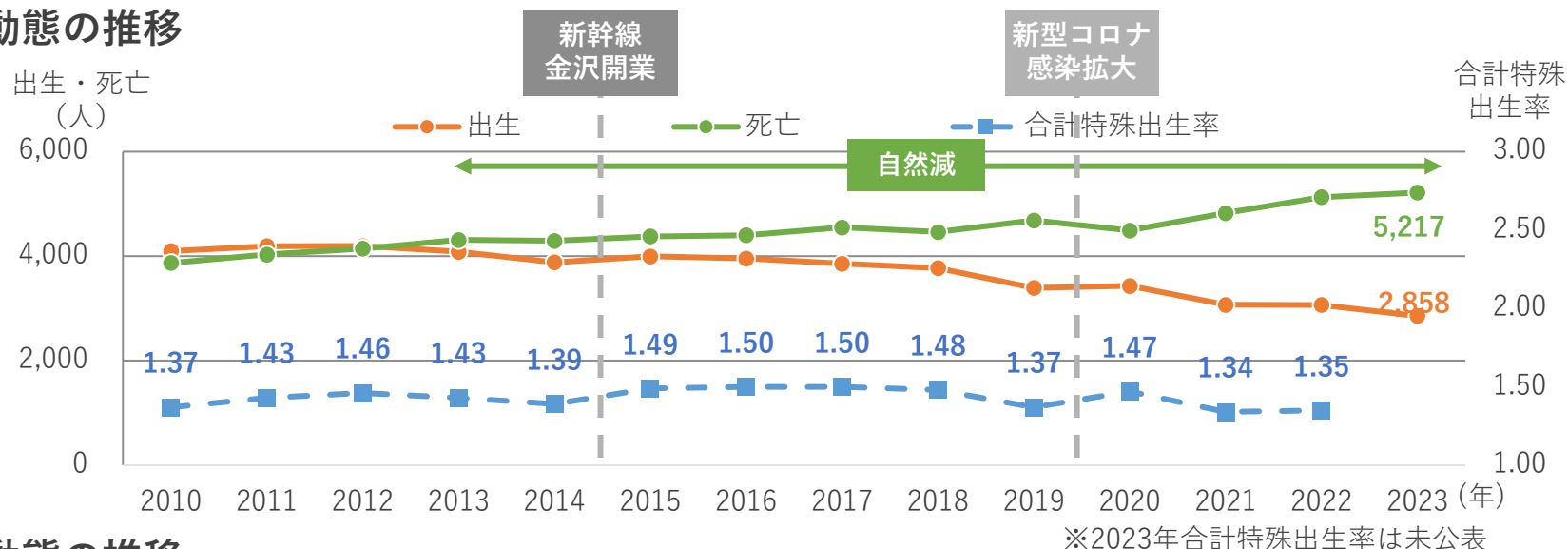
出所：2020年は国勢調査、2040年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」



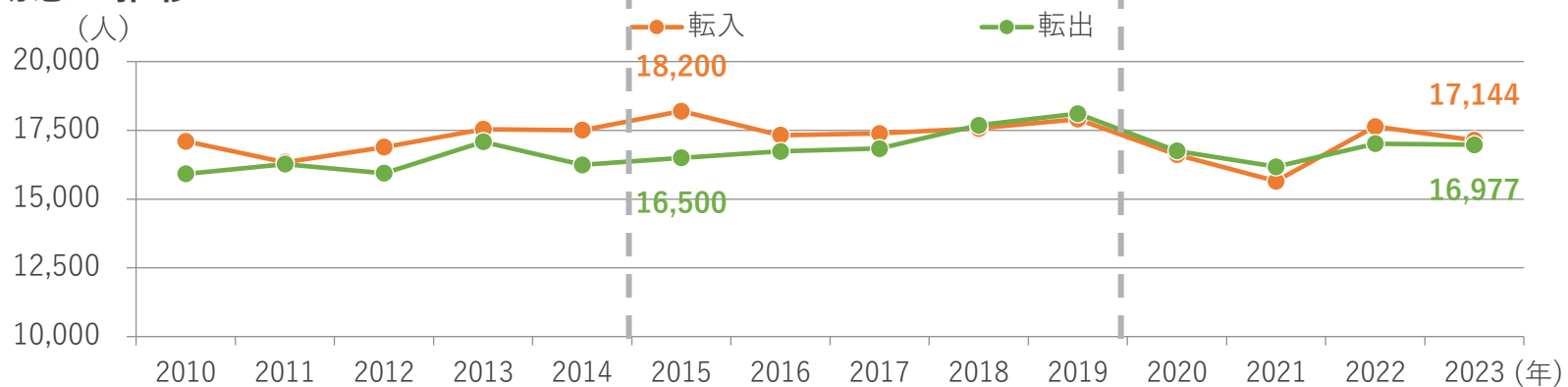
## (1) 人口 ③人口動態

- 1970年代前半の第2次ベビーブーム以降、2013年に初めて死亡数が出生数を上回り、以降は**自然減が拡大**
- 社会動態は2017年まで転入超過が続いていたが、近年は拮抗

### ■自然動態の推移



### ■社会動態の推移



出所：金沢市統計資料、金沢市『衛生年報』

## (1) 人口 ④社会動態の傾向

- 高等教育機関への進学期（15歳-19歳）では北信越・東海地方からの転入が多い。
- 就職期（20-24歳）では**東京圏への転出が多い**。

## ■2021年金沢市と県外の社会増減内訳（北信越及び三大都市圏を中心に）

都道府県	日本人総数	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90以上
茨城県	19	3	5	1	6	-5	7	-5	3	-1	1	2	-2	1	1	1	1	0	0	0
栃木県	-4	-4	0	-1	8	1	-1	0	-3	1	-1	-1	-2	0	-1	0	0	0	0	0
群馬県	15	3	-2	2	13	-11	7	5	3	-6	1	3	0	-2	1	-2	0	0	0	0
埼玉県	-86	-5	-14	-6	10	-30	-9	-17	-13	-7	-6	3	3	4	0	0	-1	3	1	-2
千葉県	-43	-5	-7	-4	11	-22	-6	-2	-12	-9	6	-5	4	5	0	3	4	-2	-2	0
東京都	-240	52	16	0	-52	-278	-60	35	31	11	6	-24	4	3	4	0	1	1	8	2
神奈川県	-120	4	-4	-5	-5	-88	-24	5	-3	-5	-7	-1	7	-2	7	3	-2	2	-2	0
新潟県	127	6	1	-3	92	15	6	12	0	1	-7	-5	4	5	-1	-1	0	1	0	1
富山県	278	-22	6	4	109	63	59	13	-3	15	3	15	-2	-5	3	-6	8	6	4	8
福井県	64	-2	-13	4	49	15	-6	4	5	3	-14	2	9	-7	5	5	2	1	1	1
山梨県	19	0	0	-1	6	9	3	-2	3	-1	1	-1	2	0	0	0	1	0	-1	0
長野県	34	3	-2	-3	60	10	-15	-11	-2	13	-12	5	-5	-5	-2	-1	1	-1	0	1
岐阜県	44	4	-3	0	39	1	-8	17	0	-11	0	3	-1	1	-1	-1	2	1	0	1
静岡県	28	5	2	6	41	-22	-8	-4	5	2	-3	-8	3	1	1	2	2	1	1	1
愛知県	-68	0	-8	-8	75	-53	-39	5	-1	-10	-31	-15	9	5	2	5	3	-3	-2	-2
三重県	48	4	7	1	20	-22	-14	-4	3	11	16	10	2	5	2	4	1	1	0	1
滋賀県	49	-1	-3	-1	44	-5	4	8	4	-2	1	-3	4	0	0	0	-1	0	0	0
京都府	-29	4	0	-6	-5	-24	19	-10	-6	8	-6	-2	-1	2	-3	0	2	1	-1	-1
大阪府	-47	8	10	-1	-6	-66	-22	4	10	-4	-6	8	0	7	4	2	1	1	3	0
兵庫県	-5	3	-8	-1	2	-3	-4	10	6	4	-9	1	-7	0	-3	2	2	1	-2	1
奈良県	11	-4	-1	-2	4	8	10	5	-1	-4	4	-1	-1	-2	1	0	0	-4	-1	0
和歌山県	-4	-3	0	1	10	-5	-1	-4	-3	1	2	-1	-3	0	0	0	1	0	0	1
合計	50	32	-25	-23	643	-489	-144	42	17	-10	-91	-39	26	14	15	21	23	13	11	14

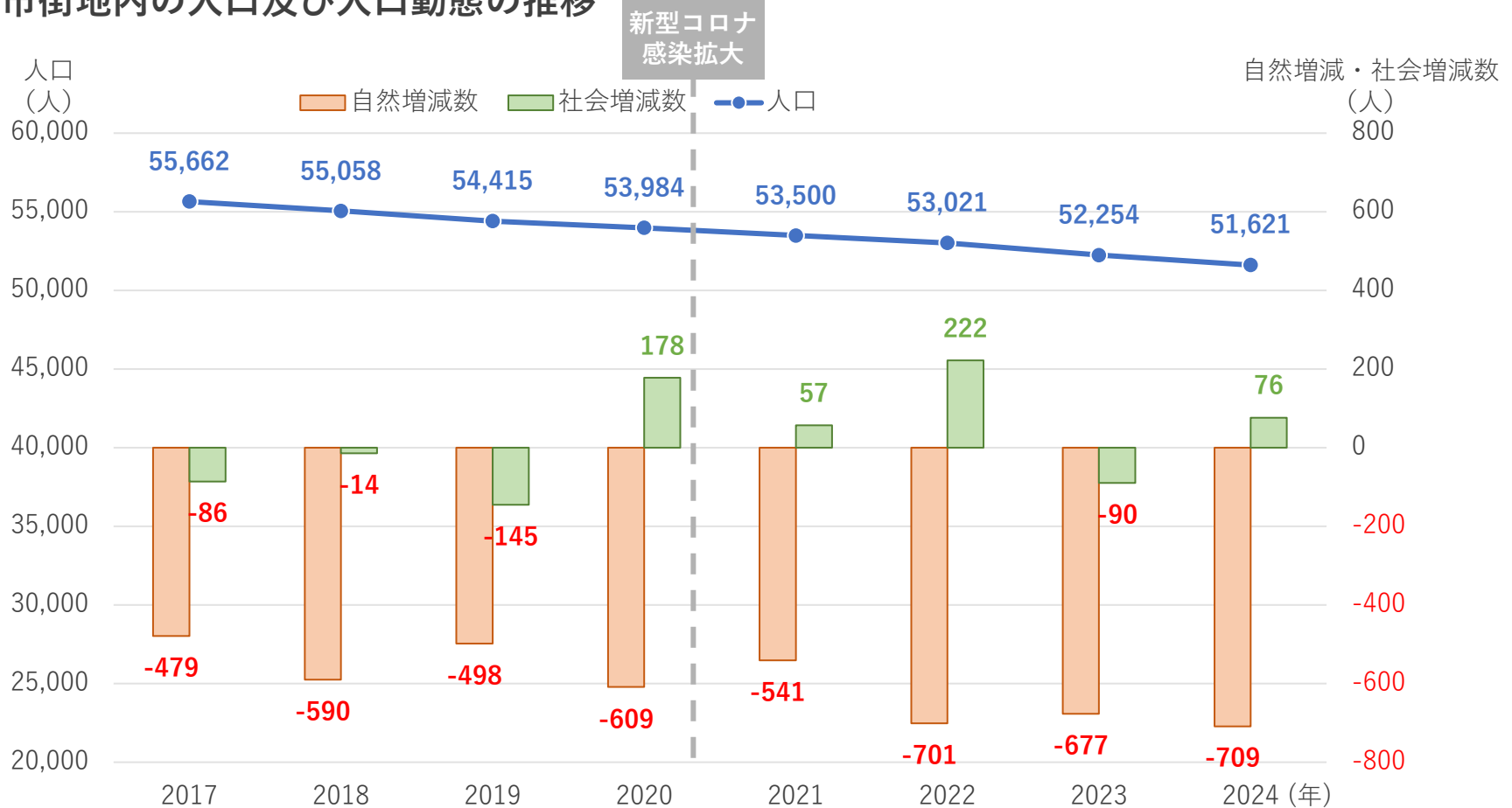
上位(転入超過)：青グラデーション、下位(転出超過)：赤グラデーション

出典：金沢市・金沢大学共同研究『人口問題における石川中央都市圏の都市機能のあり方等調査研究報告書』

## (1) 人口 ⑤中心市街地の人口動態

- 中心市街地内の**人口は減少傾向**
- 社会増減数にはばらつきがあるが、**自然増減数の減少は拡大**

## ■中心市街地内の人口及び人口動態の推移

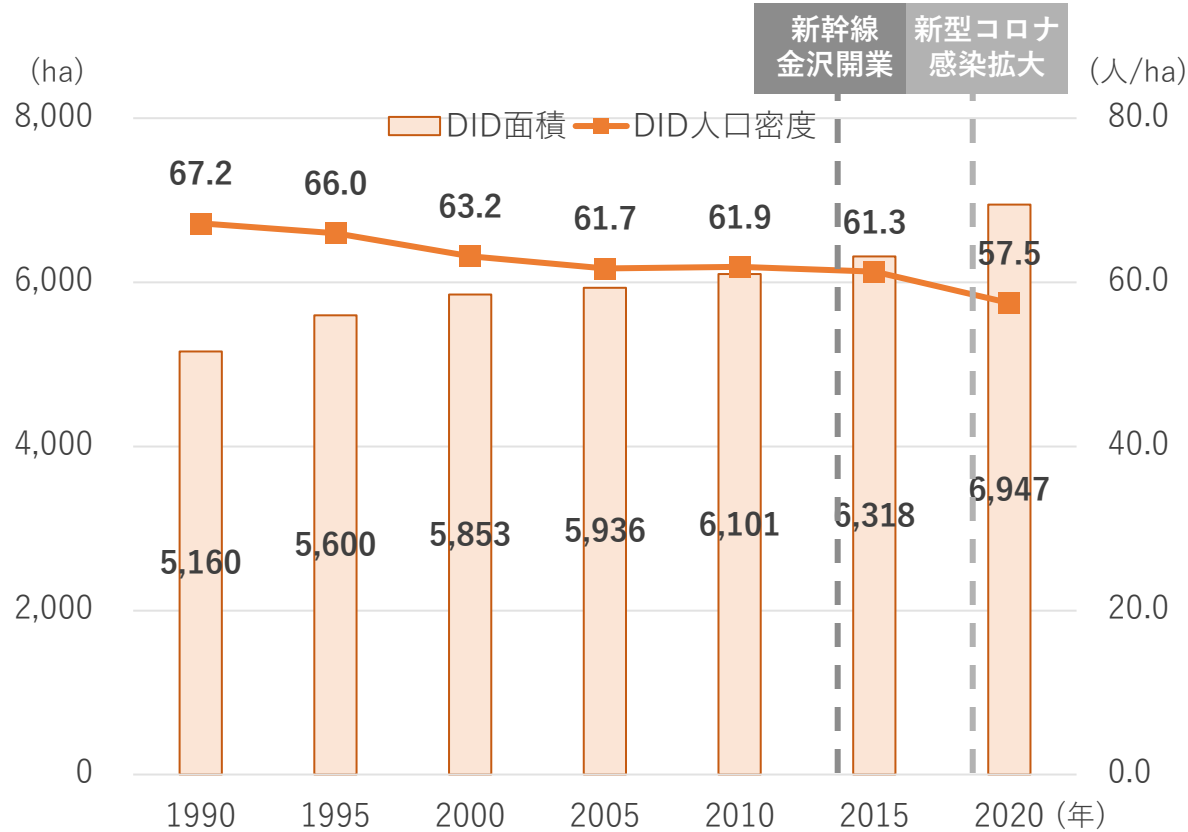


出所：金沢市資料、基準日は毎年1月1日

## (1) 人口 ⑥ DID区域 (人口集中地区) ※の広がり

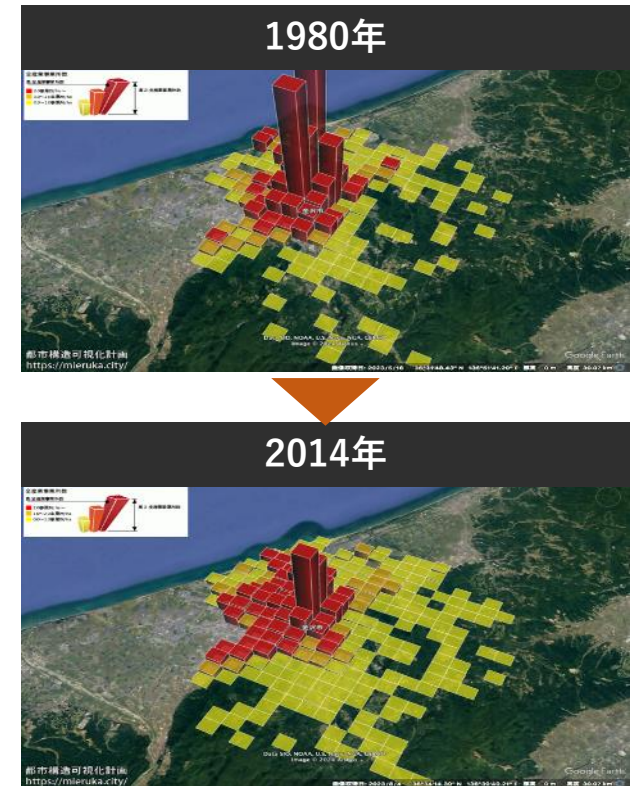
- 市街地の**外延化が進行**
- 外延化に伴い、中心市街地内の事業所数も減少

### ■ DID区域面積と人口密度の推移



出所：国勢調査

### 事業所数の変化



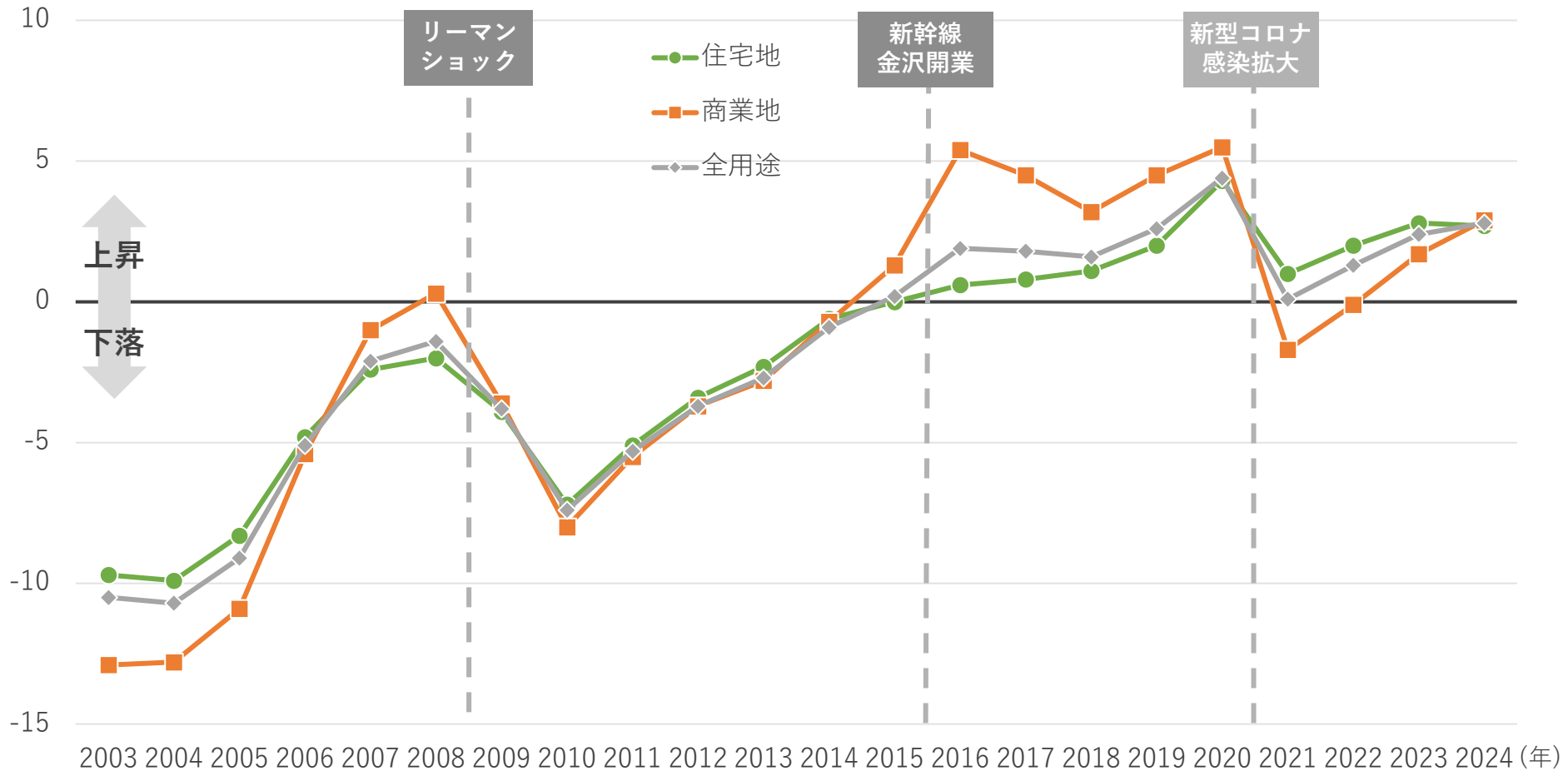
出所：都市構造可視化計画「事業所数の経年変化」

※DID区域：国勢調査において、市区町村の区域内で人口密度が4,000人/km<sup>2</sup>以上の基本単位区が互いに隣接して人口が5,000人以上となる地区

## (2) 経済 ①地価

- 北陸新幹線金沢開業直前に商業地が上昇に転じ、開業後には住宅地でも上昇

## ■金沢市内の公示価格変動率の推移



出所：地価公示、石川県『地価公示のあらまし』

## (3) 交通 ①交通事情

- 中心市街地内の公共交通は**バスが中心**
- 主に金沢駅から武蔵ヶ辻・香林坊経由で郊外各所とまちなかを直通でつないでおり、**ラッシュ時の人流の大半をバスが支えている。**
- 歴史的まちなみが残るため、**道路空間に制約**

## ■中心市街地内の主な移動手段

北陸鉄道（バス）	路線数が最も多く、市内全域を運行
西日本JRバス	金沢駅と北部・東部をむすぶ路線
城下まち金沢周遊バス （北陸鉄道）	中心市街地内の主要な観光地をむすぶ循環バス
金沢まちバス （TMO、西日本JRバス）	中心市街地内の主要な商業地をむすぶ循環バス
金沢ふらっとバス （金沢市）	中心市街地内の住宅地内を運行する循環バス
公共シェアサイクル 「まちなり」 （金沢市）	中心市街地及び近郊にサイクルポート約75か所

## ■まちなかの街路状況



都心軸は4車線

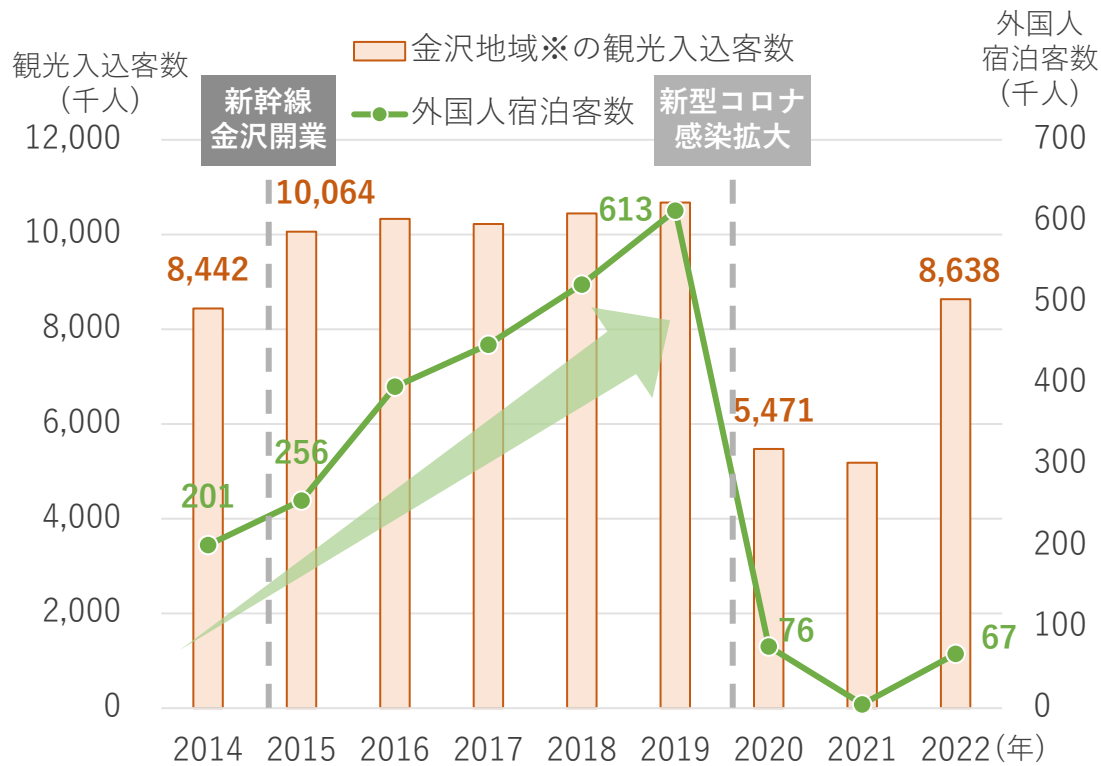


都心軸の裏は細街路

## (4) 観光 ①観光客数の推移

- 北陸新幹線金沢開業を機に**観光入込客数やコンベンション開催数は大きく増加し、特に訪日外国人観光客は2019年時点で開業前2014年の3倍超に増加**
- コロナ禍の影響により大きく減少したものの、回復傾向

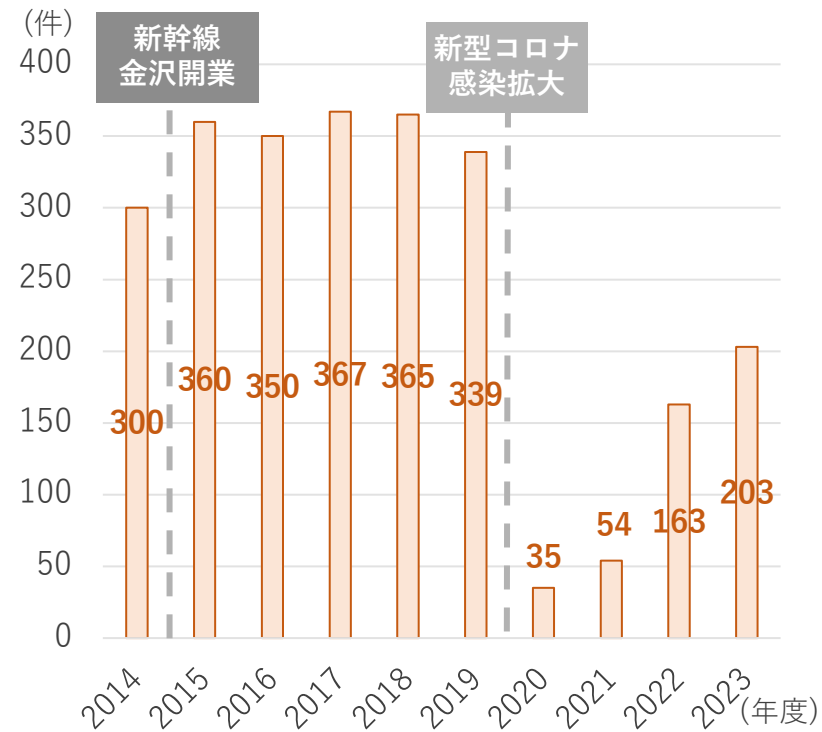
### ■観光入込客数等の推移



※金沢市、白山市（旧松任市、旧美川町）、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町

出所：石川県『統計からみた石川県の観光』

### ■コンベンション開催数の推移



※2022年までは野々市市、内灘町を含む。2023年は金沢市のみ。

出所：金沢市

1. 本協議会について
2. 金沢市の特長
3. 金沢市の現状
- 4. まちなかにおけるまちづくりの方向性**
5. 金沢駅東都心軸の現状と課題
6. 指定を目指すエリア（素案）の検討について
7. 地域整備方針（素案）の検討について



## (1) これまでの都市構想における金沢駅東都心軸の位置づけ

金沢駅東都心軸：金沢駅から武蔵ヶ辻～南町～香林坊～片町に至る都心軸



### 金沢市60万都市構想 (1970～1983年)

- 「保全と開発の調和」に関する理念の提示
- 金沢駅から片町を商業・業務のメインストリートと位置づけ

### 21世紀 ”金沢の未来像” (1984～1995年)

- 商業や業務機能、さらに、文化・教育機能が連続し都市の活力の源となる骨格として都心軸を位置づけ

### 金沢世界都市構想 (1996～2013年)

- 商業業務活動の拠点として土地の高度利用と近代的な都市景観の創出を推進

### 世界の交流拠点都市・金沢 (2014～2023年)

- 都心軸沿線の都市機能及び交流機能の強化を推進

### 未来を拓く世界の共創文化都市・金沢 (2024年～)

- 魅力あふれる中心市街地の活性化の一環として骨格となる都心軸の再興を目指す

(2) 上位計画・関連計画の整理

①未来共創計画 (令和6(2024)年2月策定)

市政を取り巻く環境の変化

- 人口減少・少子高齢化の進展
- 新型コロナウイルス感染症による変化
- 持続可能な開発目標 (SDGs) の達成
- 北陸新幹線延伸の好機と都市間競争の激化
- 安全・安心な都市の構築



基本方針5 活力と個性があふれ、安全で持続可能なまち～都市づくり～

施策方針1 魅力あふれる中心市街地の活性化

取組の方向性① 骨格となる都心軸の再興

# 4. まちなかにおけるまちづくりの方向性

## (2) 上位計画・関連計画の整理

### ②金沢市都市計画マスタープラン（令和元(2019)年8月策定）

- 中心市街地を**重点地区と位置づけ**、5つのテーマに基づき施策を推進

#### 重点地区（旧城下町）のまちづくりの方針図



#### ■重点地区のまちづくりのテーマ

##### 1. 多様な人々が住まい、営み、交流する「にぎわい」づくり

災害に強い安全、安心な居住環境の整備  
 商業、業務機能の求心力向上による商業環境や都心ビジネスの形成  
 各種観光拠点間の歩行者・自転車・公共交通ネットワークの充実

##### 2. 生活に根付いた世界に誇る「ほんもの」づくり

金沢固有の文化的景観の保全・整備  
 金沢特有の地形、斜面緑地などの自然環境の保全  
 用水や金沢惣構跡などの復元や親水空間の確保  
 価値創造拠点の整備

##### 3. 金沢の個性と調和した新たな「みりょく」づくり

個性ある近代的都市景観の創出  
 無電柱化の推進と美しく安全な街並みの創出  
 公共交通の利便性向上と交流施設の整備

##### 4. やさしさと親しみに満ちた「もてなし」づくり

シェルター付きバス停など公共交通の利用環境の向上  
 金沢ふらっとバスの利便性の向上

##### 5. 地域コミュニティを支える「きずな」づくり

旧町名の復活  
 新たなまちづくりの担い手と地域団体等の活動支援

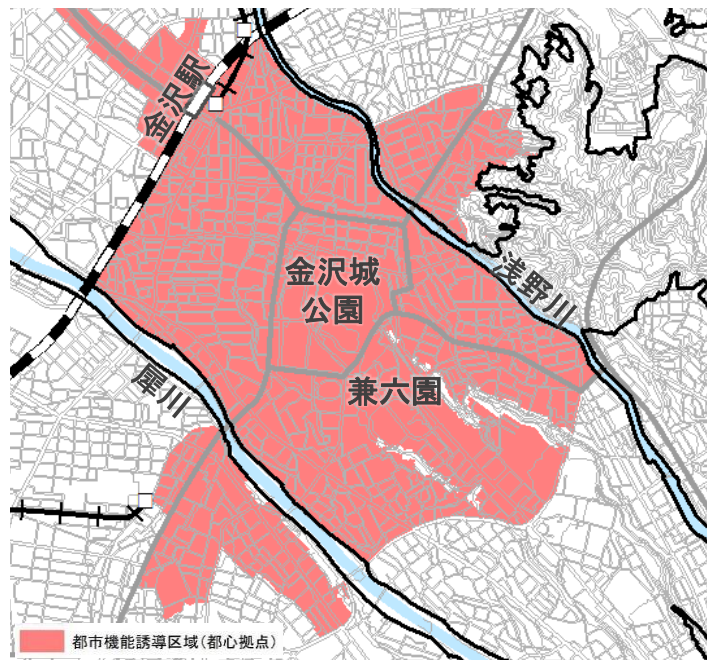
# 4. まちなかにおけるまちづくりの方向性

## (2) 上位計画・関連計画の整理

### ③金沢市集約都市形成計画（平成29(2017)年3月策定、令和5(2023)年3月変更）

- 中心市街地を歴史・文化などの多様な魅力が集積する金沢の顔として、  
**様々な都市機能を誘導する都心拠点と位置づけ**

#### ■都市機能誘導区域（都心拠点）



#### [主な取組]

- まちなかの居住の推進
- 金沢町家等の歴史的建築物の保全・活用の推進
- 誘導施設等の整備の推進
- 市街地再開発事業等による拠点づくり
- 都市機能の誘導支援
- 子育て・健康・福祉拠点の整備・充実
- 文化施設の整備・充実

#### ■都心拠点において積極的に誘導する機能等

機能	施設
居住	共同住宅（高層）
商業	最寄品（食料・日用品）、飲食店
	買回品、複合商業施設など
医療	病院
教育	大学・専修学校など
業務	オフィス
宿泊	ホテル・旅館
歴史・文化	図書館・美術館・博物館
交流	コンベンション施設 大規模ホール施設

## 4. まちなかにおけるまちづくりの方向性

### (2) 上位計画・関連計画の整理

#### ④金沢市中心市街地活性化基本計画（令和4(2022)年3月策定、令和5(2023)年8月変更）

- 「多様性と包摂性の確保により、  
住む人と訪れる人が『しあわせ』を共創する持続可能なまち」の実現を目指し、  
3つの基本方針、4つの目標を設定し、取組を推進

#### ■基本方針・目標

##### 1. 住む人にも訪れる人にも快適で楽しいまちづくり

目標Ⅰ まちなかの定住者を増やす

目標Ⅱ ウォーカブルなまちなかを形成する

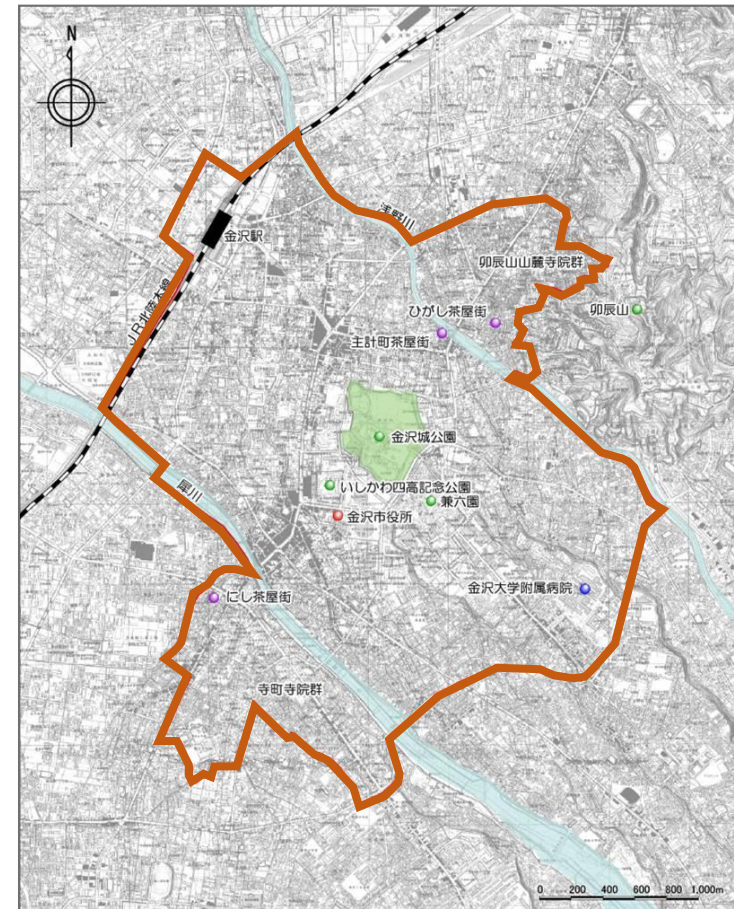
##### 2. 人も地球も元気になるまちづくり

目標Ⅲ 公共交通を優先したまちなかの交通環境を整える

##### 3. 文化やまちの個性を磨き高めるまちづくり

目標Ⅳ 歴史文化遺産を活かし市民・来街者を引き付ける

#### ■中心市街地の区域



# 4. まちなかにおけるまちづくりの方向性

## (2) 上位計画・関連計画の整理

### ⑤金沢市景観計画（平成21(2009)年7月策定、令和3(2021)年5月最終変更）

- 金沢駅東都心軸は、まちなか景域の**近代的都市景観創出区域内に位置している。**



#### 伝統環境保存区域

- A. 歴史文化象徴区域
- B. 伝統的街並み区域
- C. 川筋景観区域
- D. 旧街道街並み区域
- E. 遠望風致区域

#### 伝統環境調和区域

- A. 景趣調和区域
- B. 景観調和区域

#### 近代的都市景観創出区域

- A. 金沢駅周辺区域
- B. 都心軸区域
- C. 商業業務区域

### 近代的都市景観創出区域：

伝統環境との調和を保ちながら、  
近代的都市機能と一体をなして形成される景観を創出

### ■近代的都市景観創出区域における景観形成方針

伝統環境との調和を保ちながら、区域別に方針を設定

区域	景観形成方針
金沢駅周辺区域	金沢の玄関口にふさわしい 近代的で風格と魅力ある景観を形成
都心軸区域	近代的で魅力ある都市の顔としての 景観を形成

### ■高度地区指定

- ・ 予め建築物の高さの最高限度を定め、  
**都心軸における良好な都市景観を形成**
- ・ 金沢駅周辺区域と都心軸区域は、  
60m及び45m以下に指定

## 4. まちなかにおけるまちづくりの方向性

## (2) 上位計画・関連計画の整理

## ⑥金沢市木の文化都市推進計画（令和5（2023）年3月策定）

- 金沢駅東都心軸は、木の文化推進重点区域内に位置しており、特に金沢駅～武蔵交差点までの歩行空間について木質化を推進

## ■歩行空間整備箇所及びイメージ

木が彩る歩行空間創出実施計画

創出

## 【創出】金沢駅東口エリア

もてなしドームから始まる駅の賑わい

令和5年度 実施設計  
令和6年度 整備予定

## 【創出】アーケード連続エリア

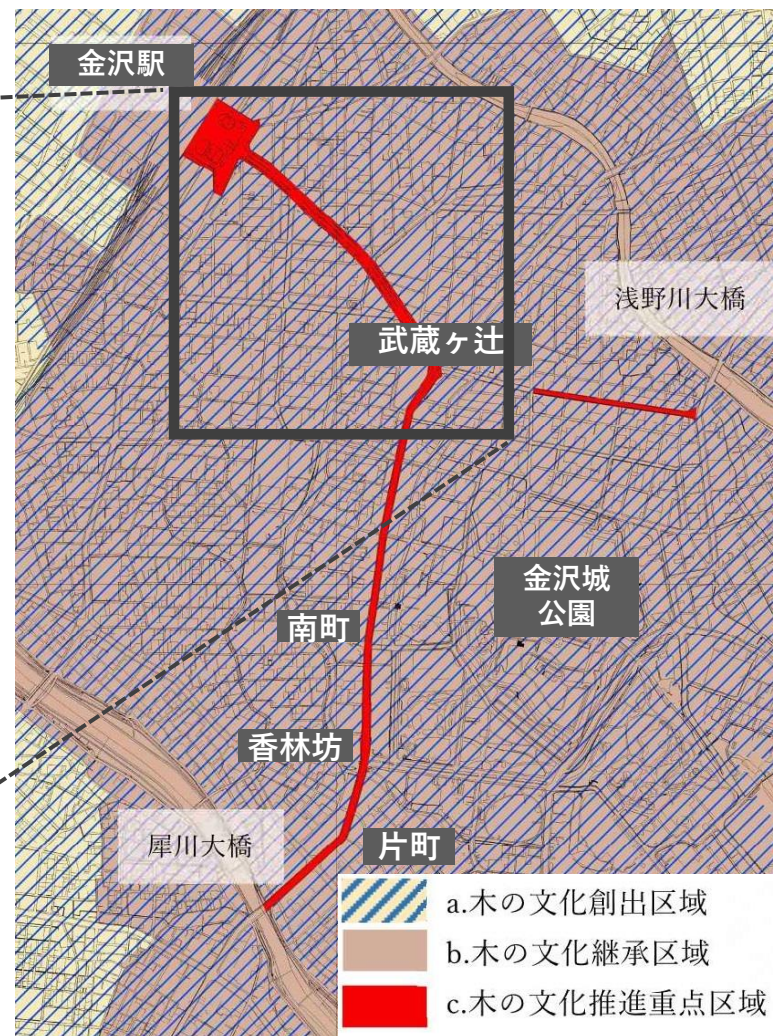
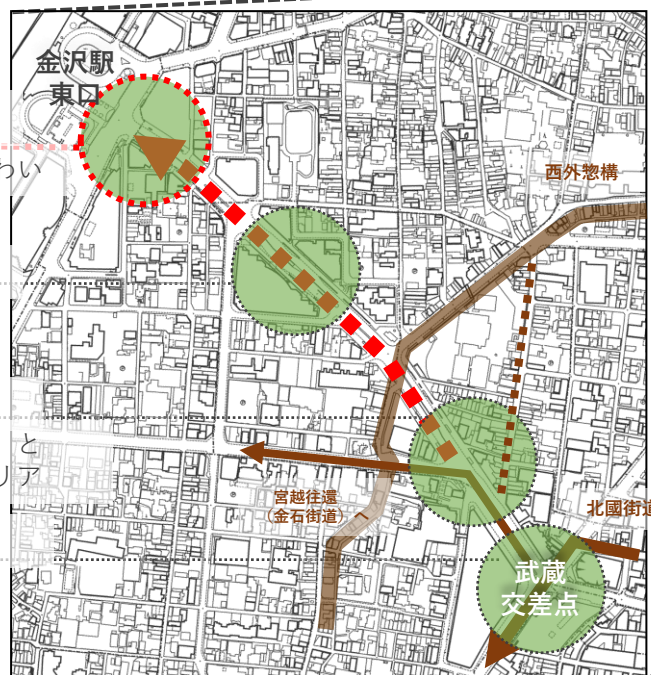
金沢の天候に配慮した  
近代的な新たな歩行空間

継承

## 【創出・継承】新旧結節エリア

藩政期の街道宮腰往還（金石街道）と  
平成の新しい都心軸とが交わるエリア

## 【創出・継承】武蔵ヶ辻エリア

藩政期から近代へとつづく  
武蔵ヶ辻の賑わい

金沢駅東広場内の総合交通案内板やバス停柱の木質化を実施予定

## 4. まちなかにおけるまちづくりの方向性

### (2) 上位計画・関連計画の整理

#### ⑦第3次金沢交通戦略（令和5(2023)年3月策定）

- 都心軸を中心にトータルデザインされた交通システムを導入しつつ、**人中心のウォーカブルな空間整備等を推進**

まちなか

## 歴史や文化などの 魅力が楽しめる**人中心の 移動環境の充実**

- トータルデザインされた新しい交通システム(第1段階)を都心軸中心に導入
- 人中心のウォーカブルな空間の整備
- 自転車走行指導帯やまちのりの充実
- 来訪者等にも分かりやすい案内や機能でラクラク移動





1. 本協議会について
2. 金沢市の特長
3. 金沢市の現状
4. まちなかにおけるまちづくりの方向性
- 5. 金沢駅東都心軸の現状と課題**
6. 指定を目指すエリア（素案）の検討について
7. 地域整備方針（素案）の検討について

## (1) 土地及び建物 ①土地利用

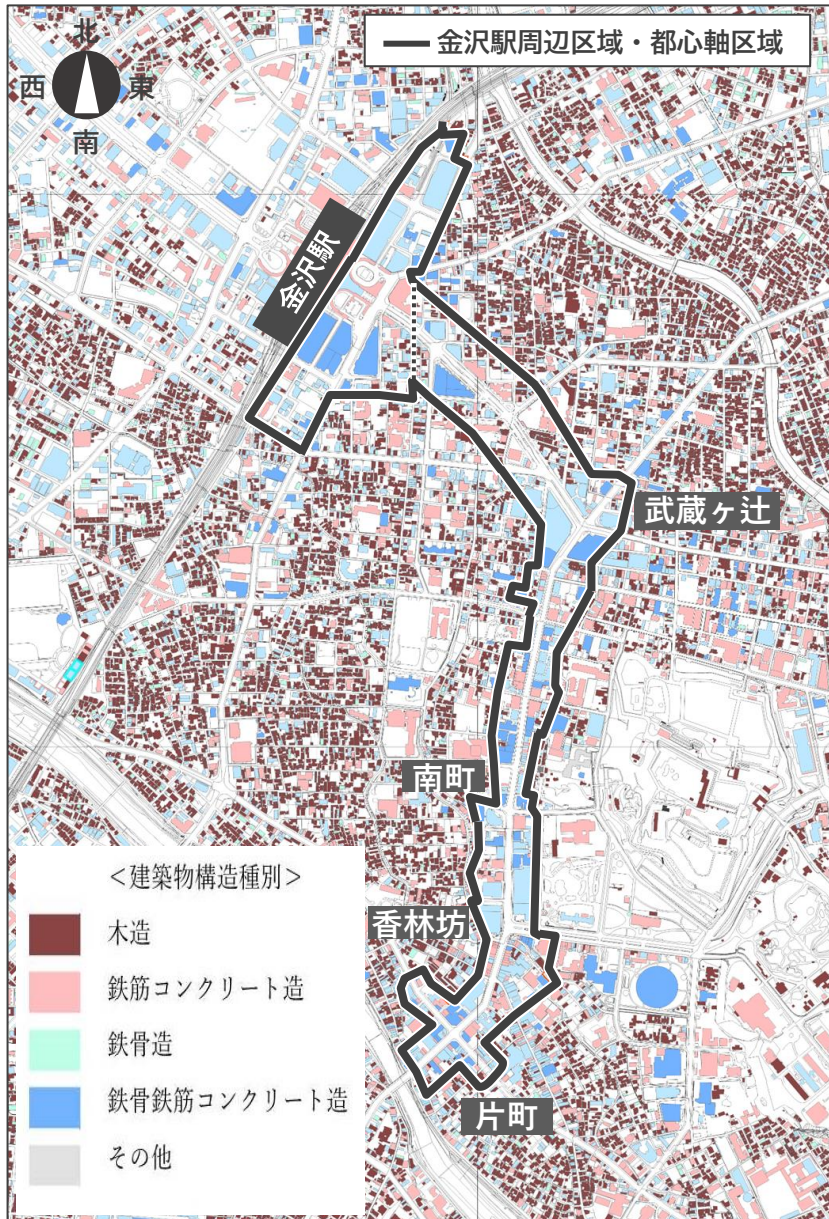


- **商業用地**が集積
- **公共空地**が少ない。

### ■ 公共空地の面積・割合

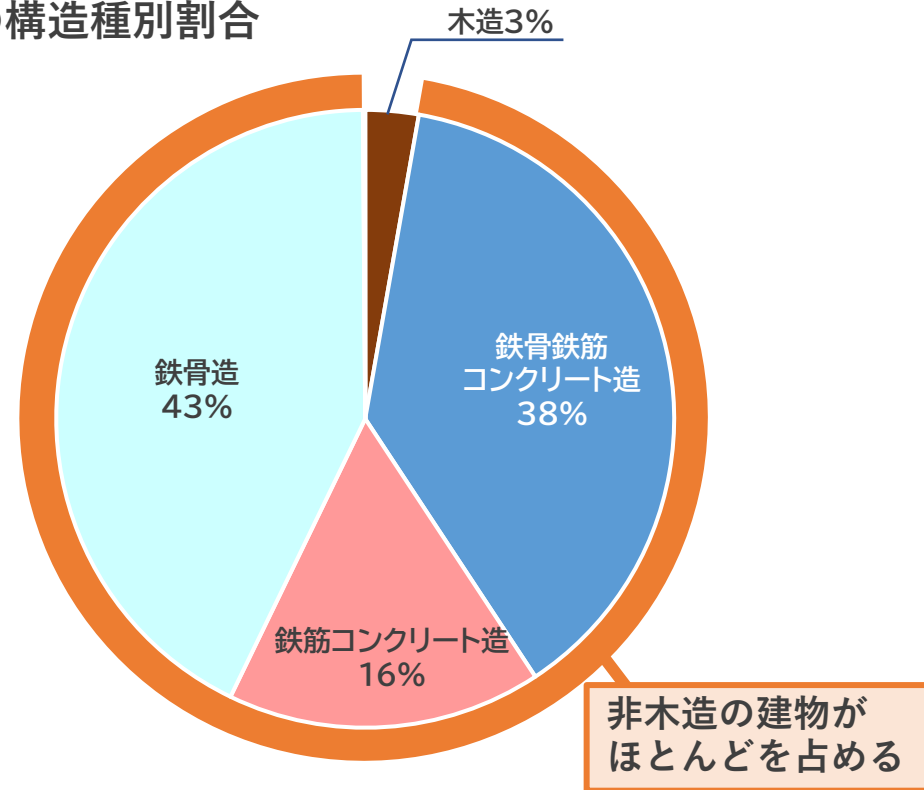
	都心軸周辺	市街化区域
総面積	801,766 m <sup>2</sup>	86,520,802 m <sup>2</sup>
うち公共空地	8,020 m <sup>2</sup>	3,409,482 m <sup>2</sup>
公共空地率	1.0%	3.9%

## (1) 土地及び建物 ②建物の構造種別



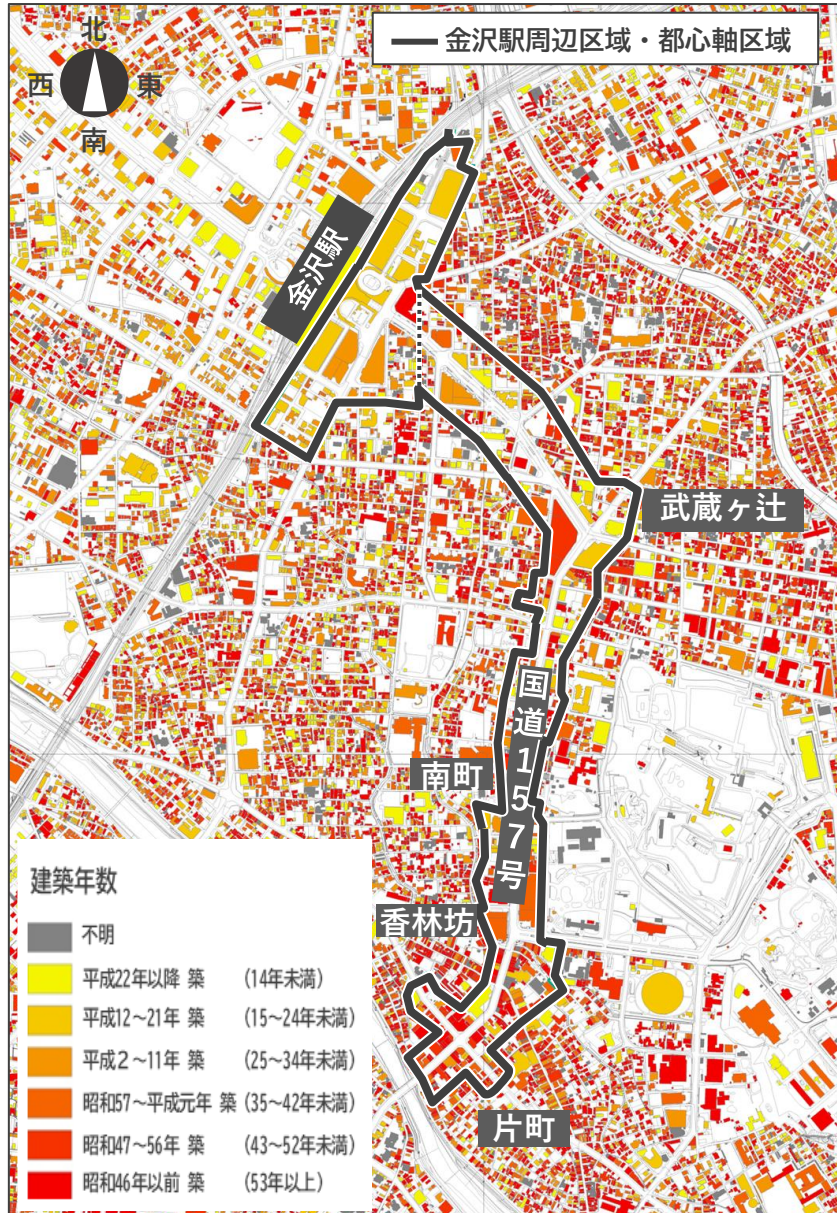
● 非木造が大部分を占める。

### ■ 建築の構造種別割合



出所：金沢市都市計画基礎調査(2020年)

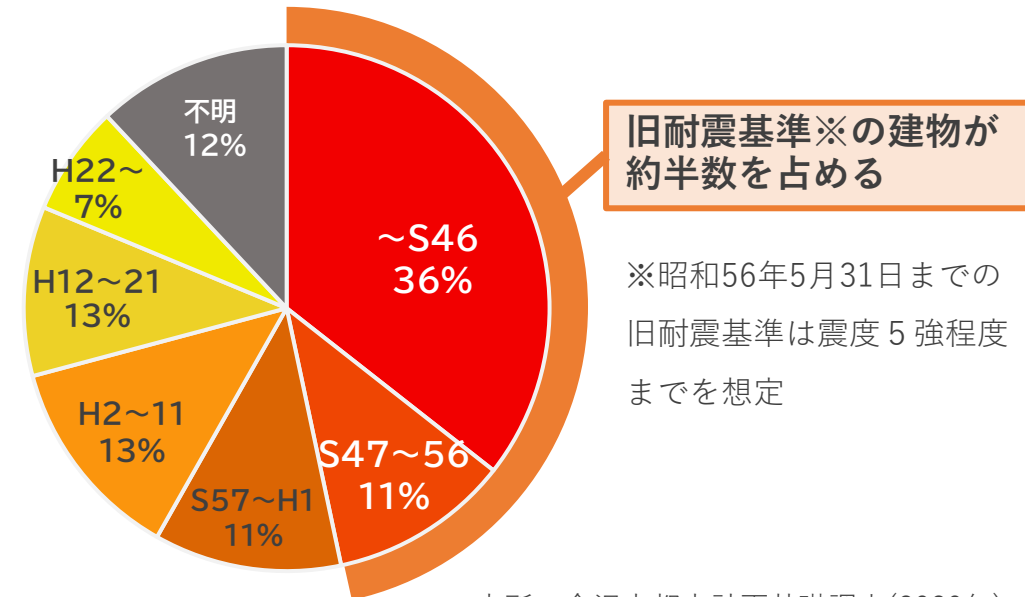
## (1) 土地及び建物 ③建物の建築年数



- 旧耐震基準（昭和56年以前）の建物が約半数を占める。
- 武蔵ヶ辻から片町に至る国道157号は、災害時等における緊急車両の通行を確保すべき緊急輸送道路として位置づけられている。

→ (課題) ・賑わいと交流の更なる向上  
 ・老朽化した建築物の再整備と緊急輸送道路としての機能維持

### ■建築物築年数割合



## (2) 災害発生リスク

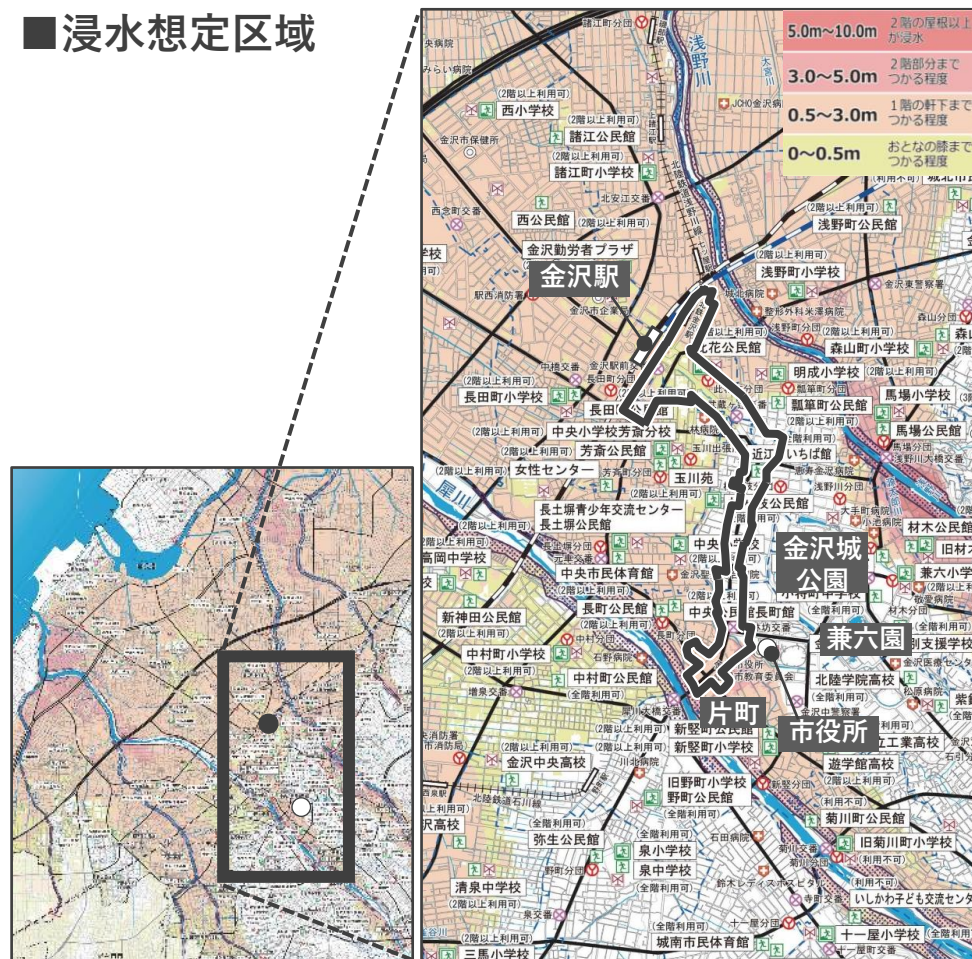
- 市の大半の地域は震度6弱以上と想定
  - 都心軸周辺にも浸水想定区域が分布(片町周辺や金沢駅周辺)
- (課題) 地震や豪雨など災害への備えと帰宅困難者対策

### ■ 想定震度分布図



出所：金沢市地域防災計画

### ■ 浸水想定区域

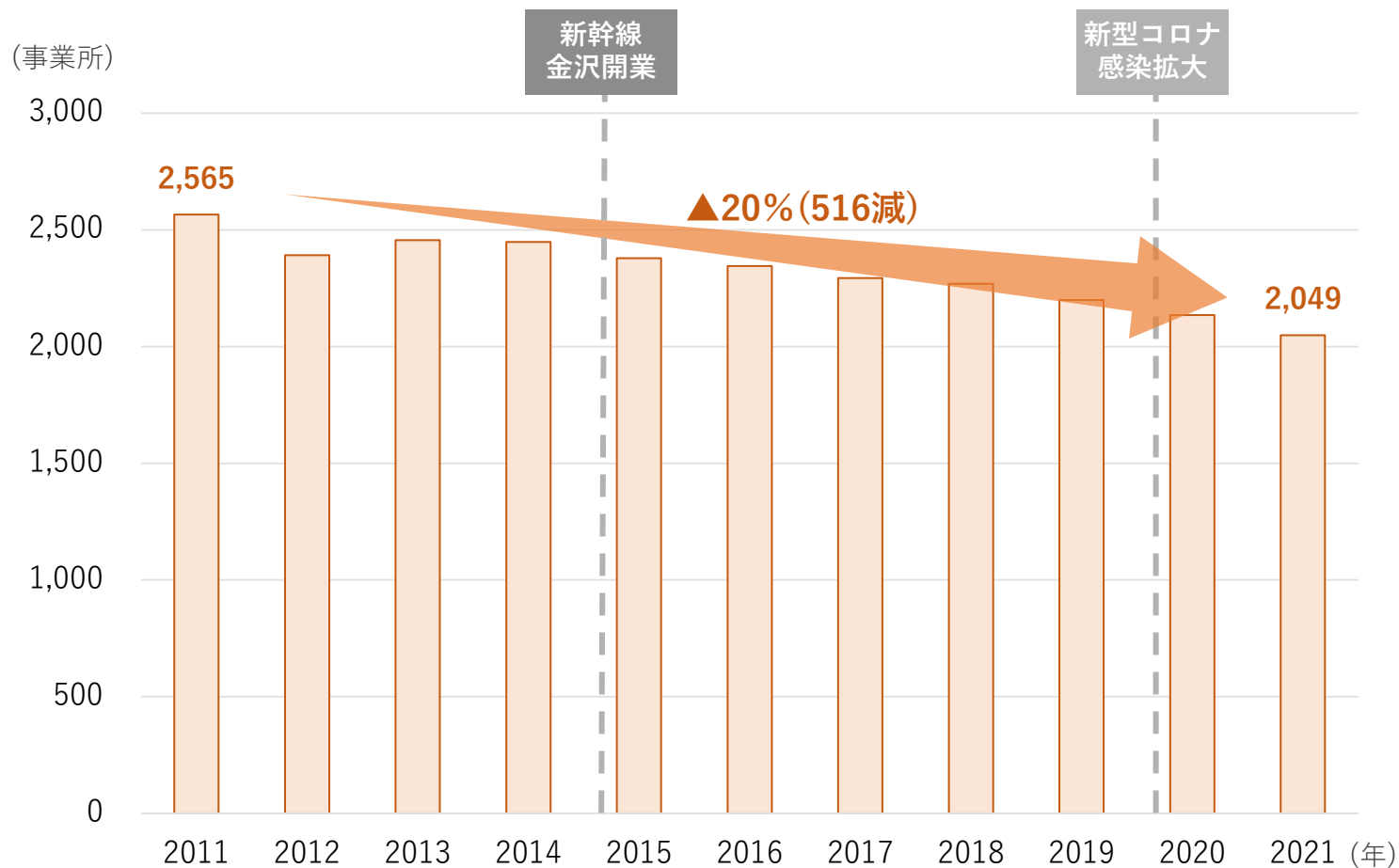


出所：金沢市「水害ハザードマップ」

### (3) 事業所 ①事業所数の推移

- 区域内の事業所数は、10年前(2011年)と比較し、約2割減少  
→ (課題) 事業所の誘致

#### ■事業所数の推移

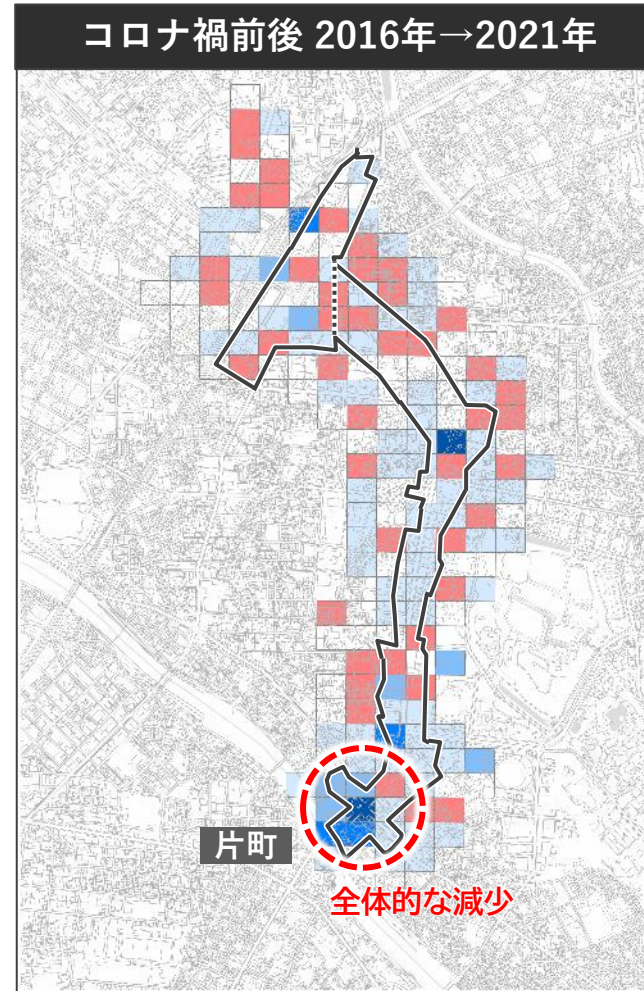
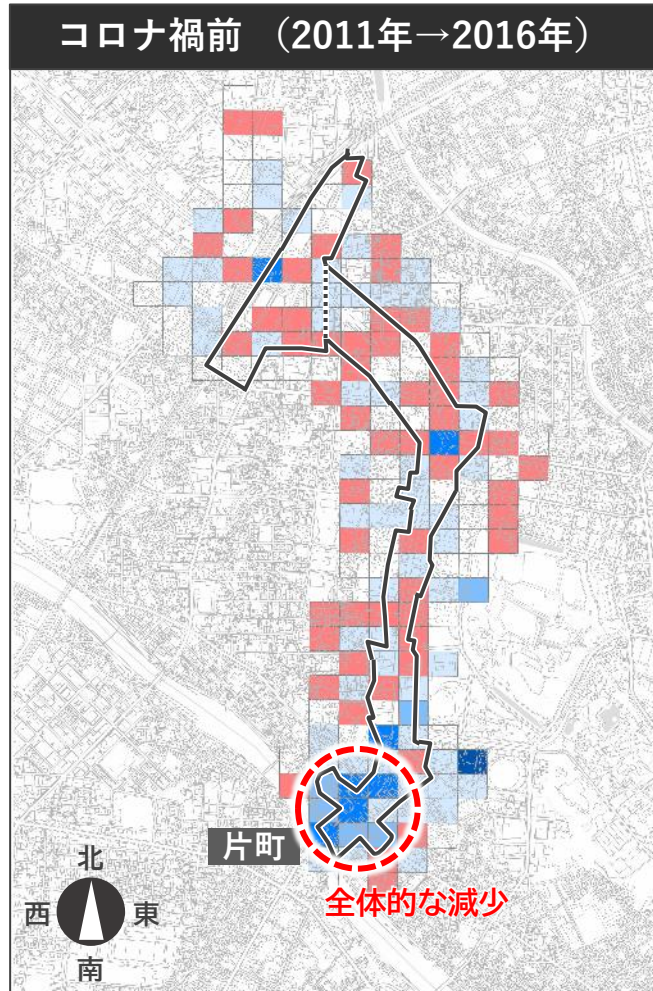


出所：RESAS 事業所立地動向データ

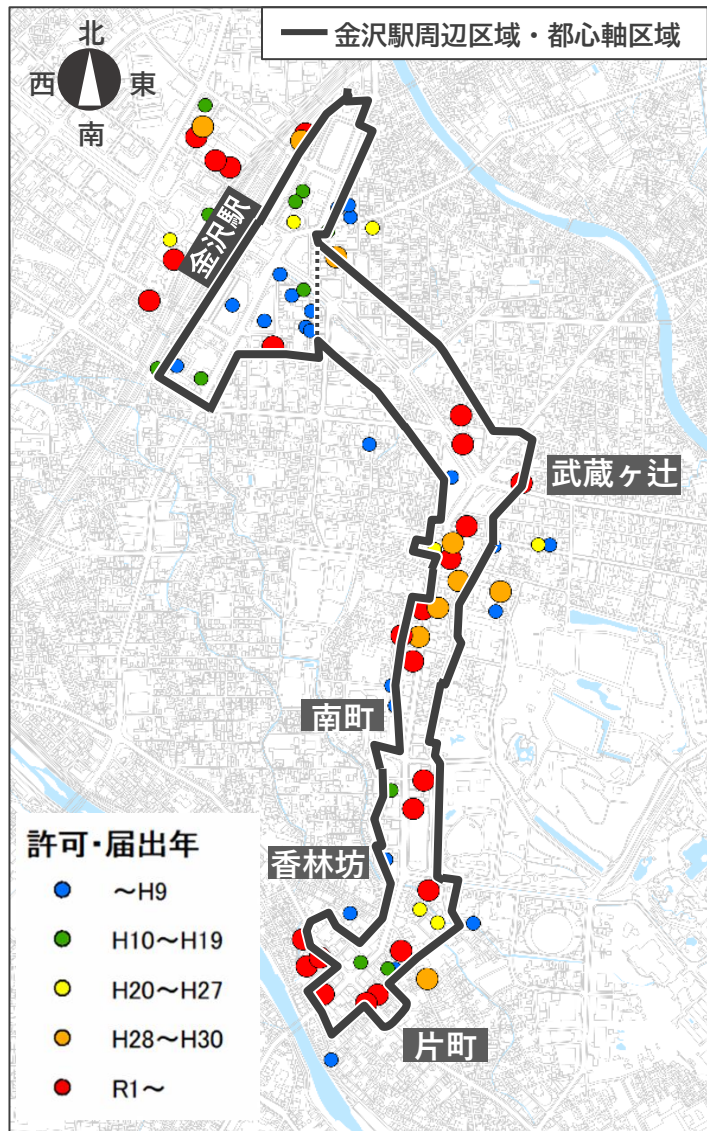
## (3) 事業所 ②事業所の立地動向

- 特に片町エリアにおける事業所数の減少が顕著

### ■事業所数の増減

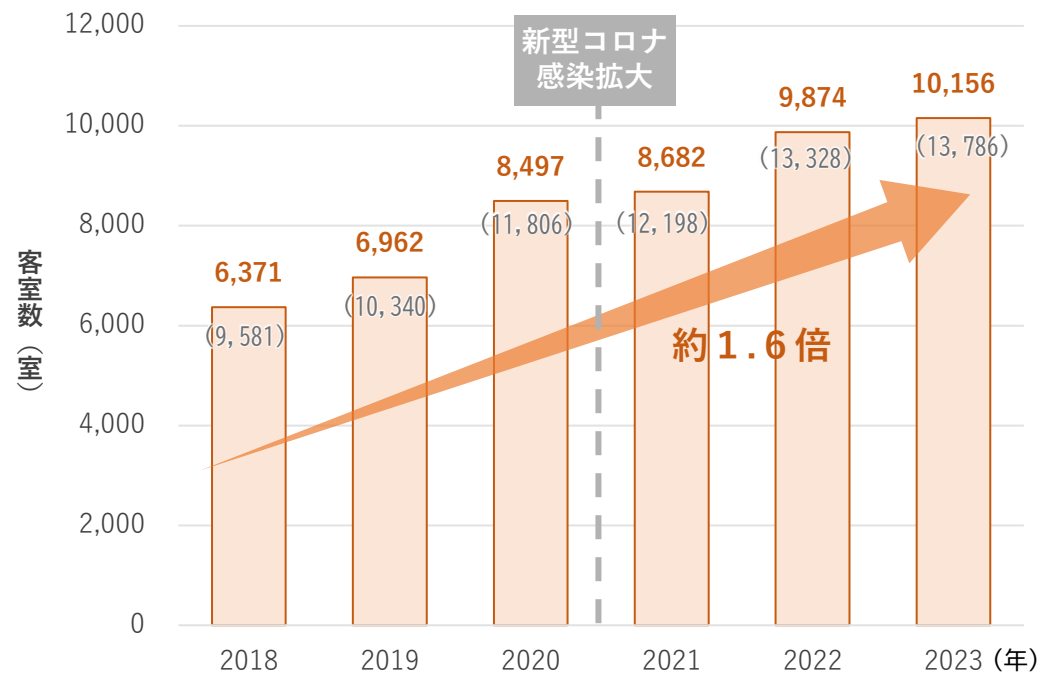


## (4) 宿泊施設の立地動向



- 近年、武蔵ヶ辻～片町エリアに新規開業が多い。
  - 客室数は6年間で約1.6倍（市全体では約1.4倍）
- ➔ (課題) 旅行者等の滞在拠点としての付加価値の向上

## ■ 客室数の推移（ホテル・旅館業）



※( )は市内全体 ※各年1月時点

出所：旅館業施設一覧（各年1月時点）

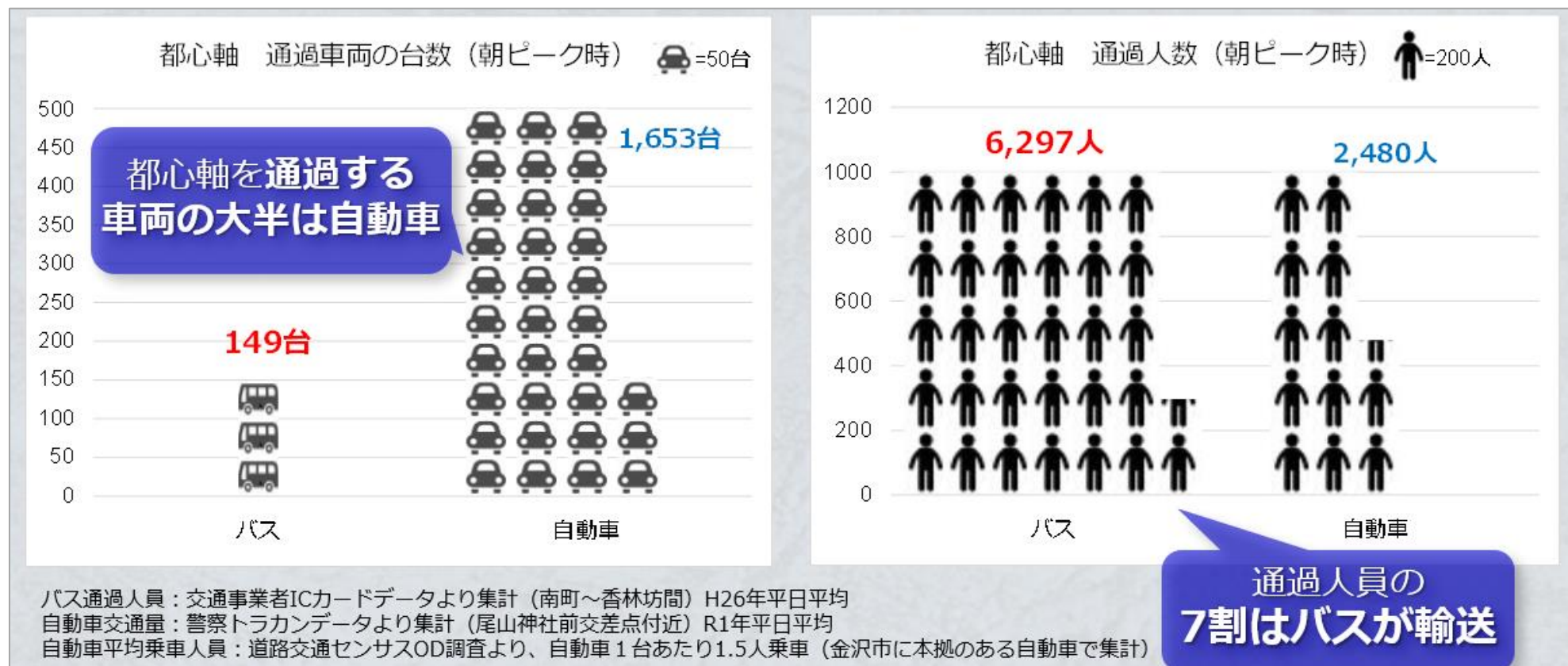


## (5) 公共交通

※第3次金沢交通戦略策定（2023年3月）時点

- 最も多い香林坊では、1日約1,900便（上下合計）のバスが運行※
- 都心軸を通過する車両の大半は自動車だが、通過人員の7割はバスが輸送しており、限られた道路空間における公共交通の役割は大きい。

→ (課題) 公共交通サービスの維持・高度化と利用環境の向上



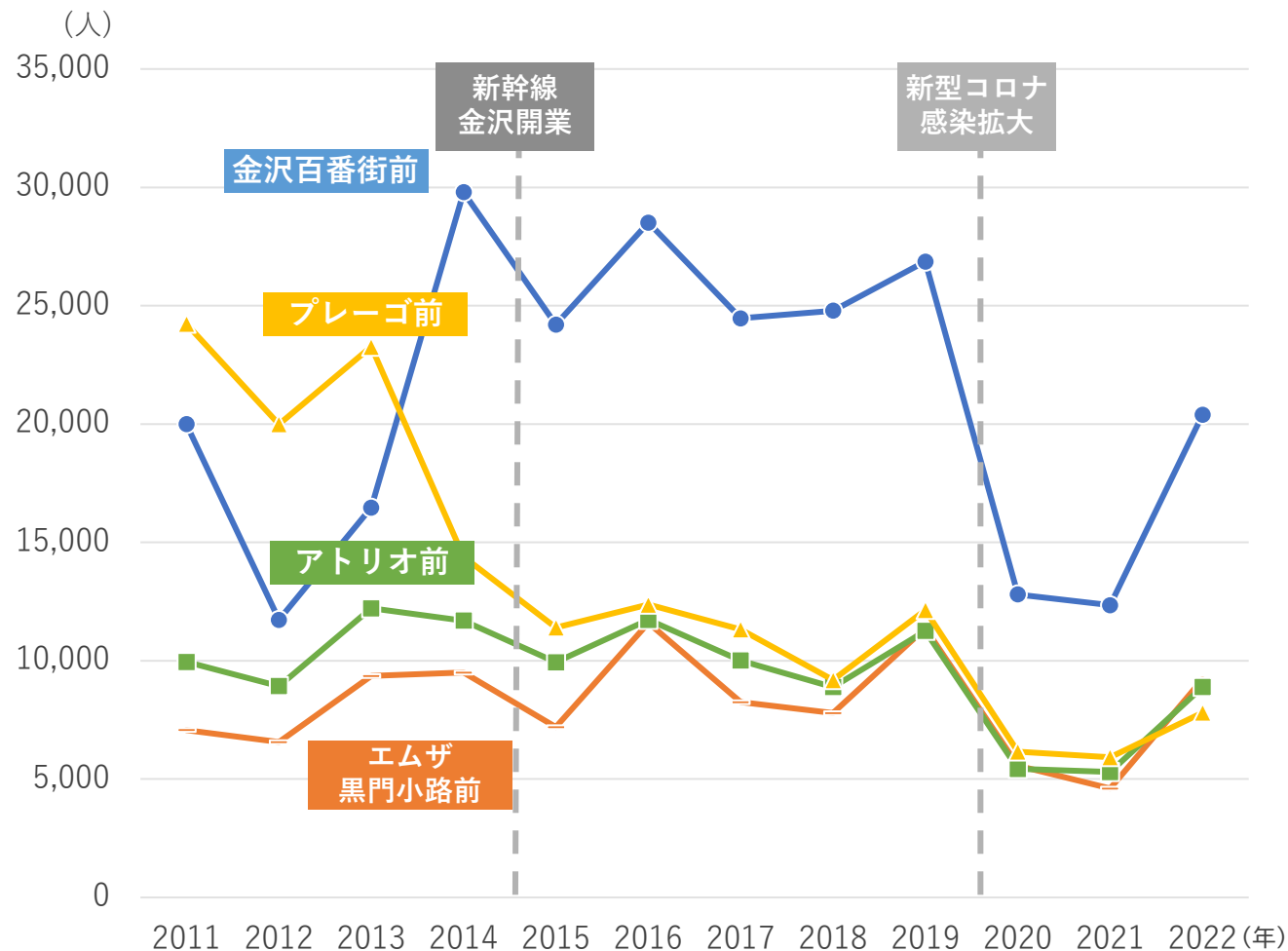
出典：令和4(2022)年度第1回石川中央都市圏地域公共交通協議会

## (6) 人の動き ①歩行者通行量

- 新幹線開業前後で金沢駅前において大きく上昇

### ■ 休日の歩行者・自転車通行量の推移

※各年10月の休日1日の各地点における歩行者・自転車通行量



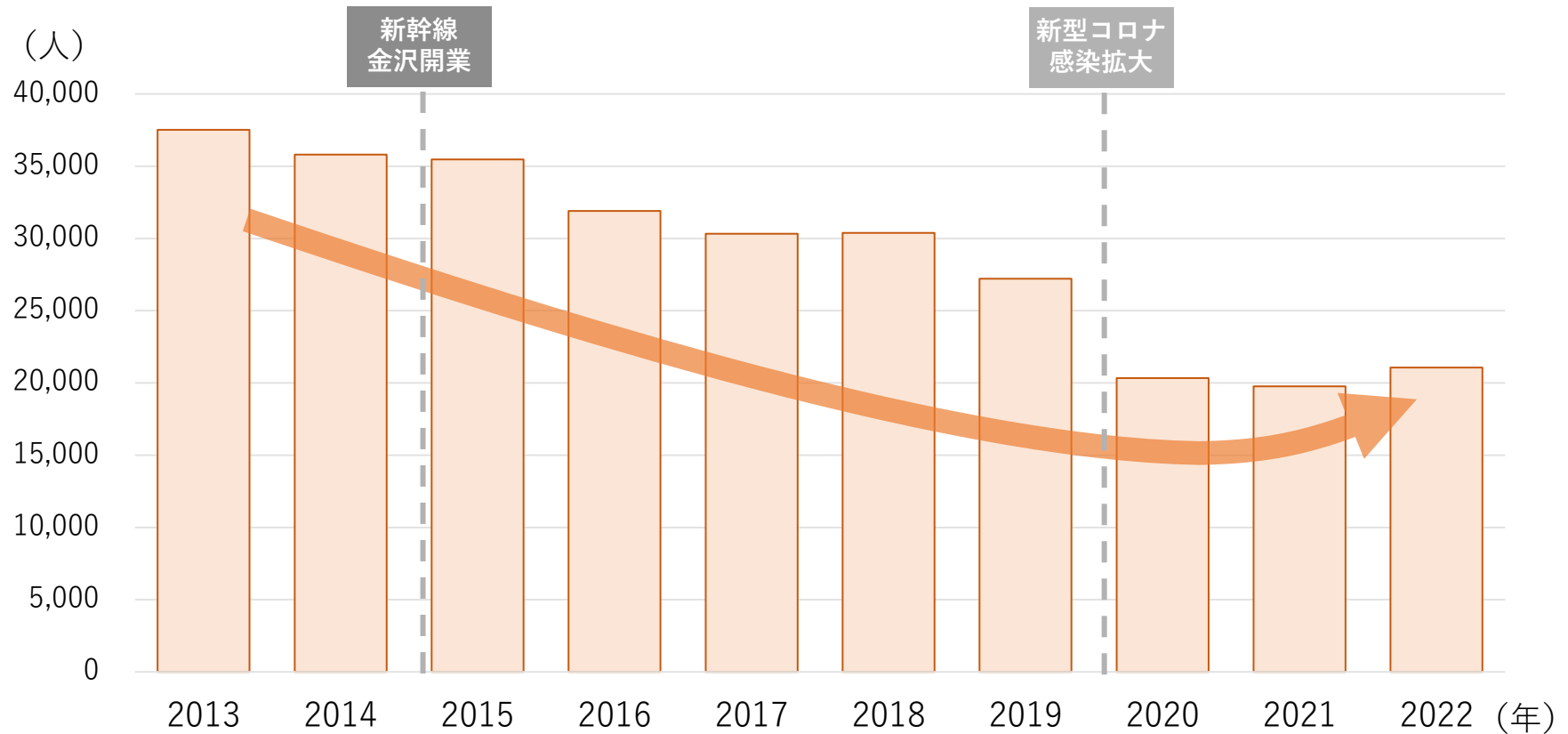
出所：金沢市、金沢市商店街連盟『歩行者通行量調査報告書』



## (6) 人の動き ②平均滞在人口

- 滞在人口は、継続的に減少しているものの、コロナ禍に比べ若干改善  
→ (課題) 居心地良く滞在し、歩きたくなる空間の創出

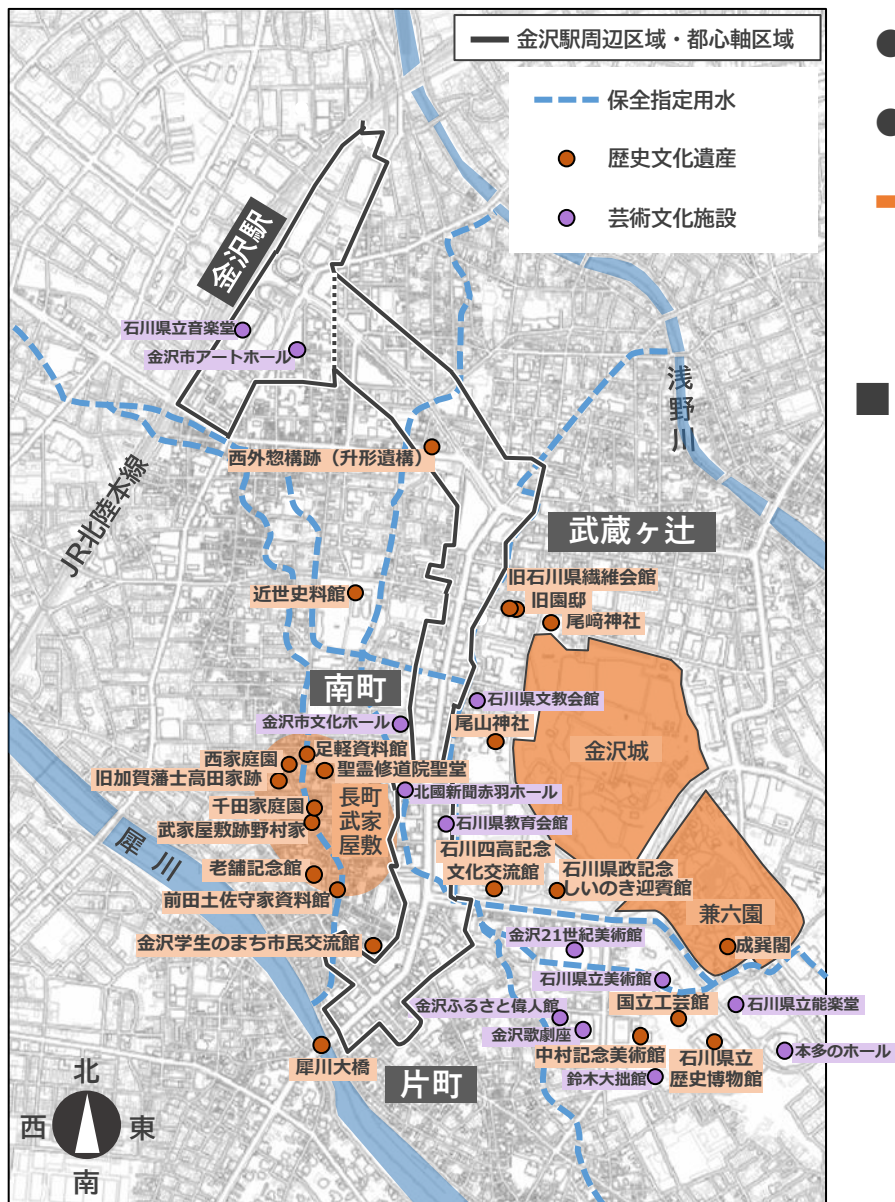
## ■平均滞在人口※の推移



出所：RESAS 変動人口メッシュデータ

※平均滞在人口とは、500mメッシュ内に一定時間以上（1時間程度）滞在している人の数を指す

(7) 歴史文化遺産や芸術文化施設等の分布



- 都心軸周辺に広く分布
  - 特に、南町～片町の周辺に多く集積
- ➔ (課題) 歴史文化遺産の保存継承と  
芸術文化施設の更なる利用促進

■ 主要な施設の利用者数 (2023年)

兼六園	2,549,767人/年
金沢城公園	2,584,169人/年
金沢21世紀美術館	2,230,579人/年

出所：金沢市統計資料

1. 本協議会について
2. 金沢市の特長
3. 金沢市の現状
4. まちなかにおけるまちづくりの方向性
5. 金沢駅東都心軸の現状と課題
- 6. 指定を目指すエリア（素案）の検討について**
7. 地域整備方針（素案）の検討について

### エリア（素案）を検討する上での要件

#### ① まちづくりの規範との整合

- これまでのまちづくりの方向性や上位・関連計画と整合が図られ、重点的・緊急的な開発を促進すべきエリアを想定

#### ② 都市開発事業の早期実施が見込まれるか

- 地方公共団体の定めた計画や土地所有者の意向等に基づき都市開発事業の早期実施が見込まれるエリアを想定

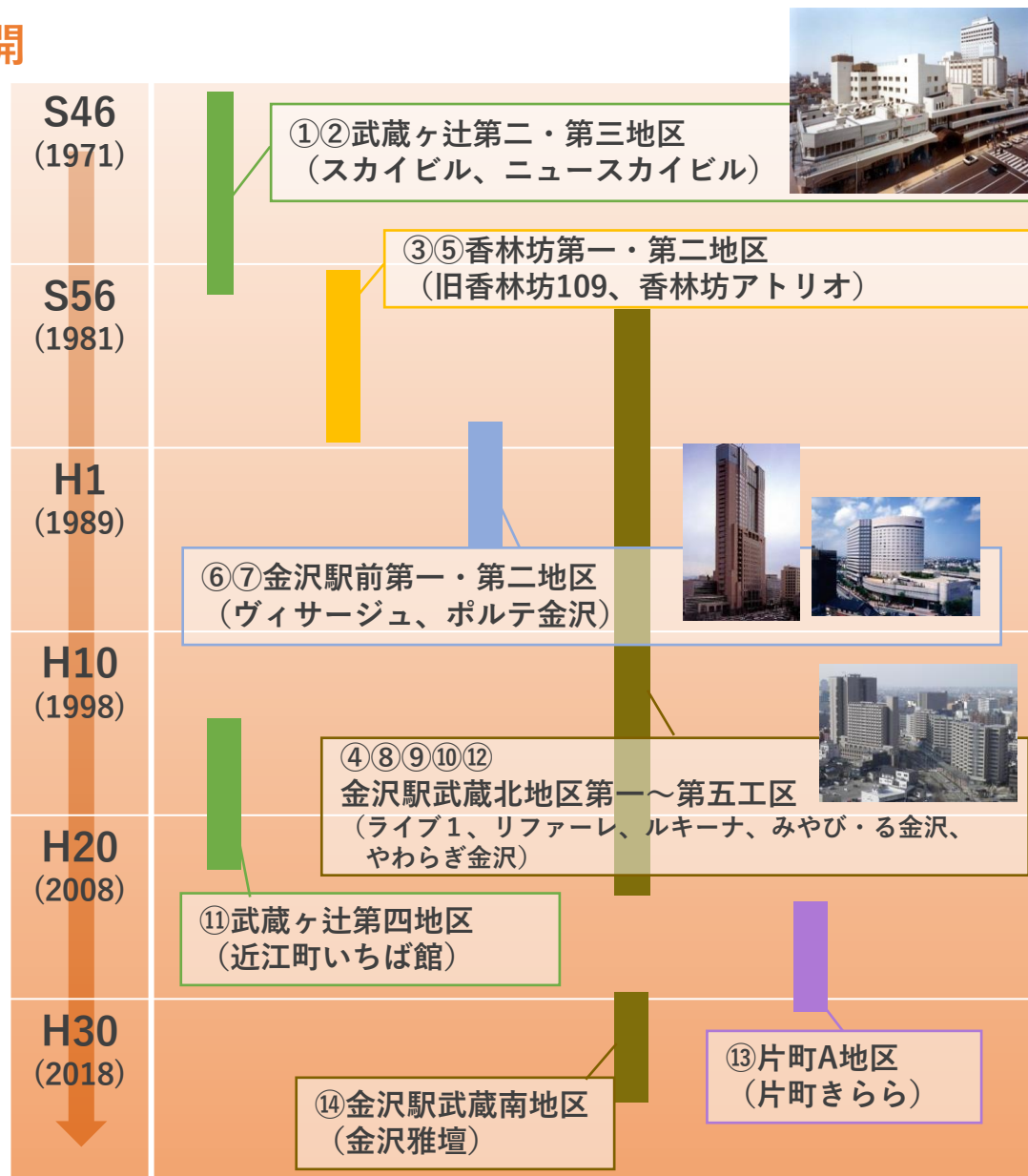
#### ③ 都市全体への波及効果が見込まれるか

- 都市再生の拠点となる土地利用の転換等、地域指定の効果が着実に見込まれるエリアを想定（開発が想定され具体的な事業が既に進行している地区等）



## （参考）主な開発の経過と今後の動向

- 再開発事業は**都心軸沿線のみで展開**



1. 本協議会について
2. 金沢市の特長
3. 金沢市の現状
4. まちなかにおけるまちづくりの方向性
5. 金沢駅東都心軸の現状と課題
6. 指定を目指すエリア（素案）の検討について
- 7. 地域整備方針（素案）の検討について**



## 地域整備方針（素案）の構成

### ① 地域名称

現在の候補地域の名称：（仮称）金沢駅東都心軸地域

### ② 整備の目標

当地域が目指すべき方向性（あるべき姿）について

### ③ 都市開発事業を通じて増進すべき都市機能に関する事項

②の実現に向け、主に民間の都市開発事業を通じて増進すべき都市機能について

### ④ 公共施設その他の公益的施設の整備及び管理に関する基本的事項

②の実現に向け、都市基盤などの公共・公益施設整備について

### ⑤ 緊急かつ重点的な市街地の整備の推進に関し必要な事項

②の実現に向け必要となるその他の手段について



都市再生緊急整備地域の指定に向けて

## 第1回会議の論点

- 現状と課題に対するご意見
- 都心軸の目指すべき方向性

など

# 今後の予定

	内 容
本日 (5月20日)	第1回 準備協議会 <ul style="list-style-type: none"><li>都市再生緊急整備地域制度について（内閣府）</li><li>都心軸の現状と課題（事務局）</li></ul>
今後	第2回 準備協議会 <ul style="list-style-type: none"><li>エリア（素案）と地域整備方針（素案）について</li></ul>
	第3回 準備協議会 <ul style="list-style-type: none"><li>素案のとりまとめ</li></ul>
	準備協議会から素案を金沢市へ報告
	金沢市から素案を内閣府へ申請